Canon

PIXUS mini 260

操作ガイド

使用説明書　ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。



PIXUS mini 260

Exif Print　PictBridge

J　QT5-0752-V03

取扱説明書の見かた

かんたんスタートガイド



必ず、最初にお読みください

本プリンタをご購入後、初めて使用するまでに必要な説明が記載されています。

操作ガイド



印刷を開始するときにお読みください

デジタルカメラのメモリーカードをセットして、写真を見ながら印刷する操作、デジタルカメラをプリンタに接続して写真を印刷する操作、お手入れの操作について説明しています。

電子マニュアル



パソコンの画面で見る取扱説明書です

プリンタガイド

本プリンタをパソコンと接続して印刷する方法や困ったときの対処のしかたについて説明しています。

印刷設定ガイド

印刷するときに必要なプリンタドライバの設定のしかたについて説明しています。

アプリケーションガイド

『セットアップCD-ROM』に収められているアプリケーションの使い方を説明しています。

記号について

本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠ 警告

取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意

取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要

操作上、必ず守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

参考

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

目次

ごあいさつ

このたびは、キヤノン PIXUS（ピクサス）mini260 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、ご使用の前に取扱説明書をひととおりお読みください。
また、お読みになったあとは、必ず保管してください。操作中に使いかたがわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

■国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ及び複合機（コンセントから電力を供給されるものに限る）で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、日米で統一されています。

■Exif Print について

このプリンタは、「Exif Print」に対応しています。
Exif Print は、デジタルカメラとプリンタの連携を強化した規格です。
Exif Print 対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

■商標について

- Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の地域における登録商標または商標です。
- Macintosh および Mac は、米国およびその他の国で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。
- Adobe、および Adobe RGB (1998) は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- SmartMedia、およびスマートメディアは、（株）東芝の商標です。
- メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo は、ソニー（株）の商標です。
- xD-Picture カードは、富士写真フイルム（株）の商標です。
- MultiMediaCard は、MultiMediaCard Association の商標です。
- SD カード、および miniSD カードは、SD Association の商標です。
- IrDA は、Infrared Data Association の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCF ロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。

お客様へのお願い

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一誤りや記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。連絡先は、別紙の『サポートガイド』に記載しています。
- このプリンタを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

Bluetooth ID: B02954

こんなことができます

本プリンタでは、次のような使いかたができます。

液晶モニターで写真を見ながら印刷

◆撮った写真を液晶モニターで自動表示─スライドショー
→ P.36

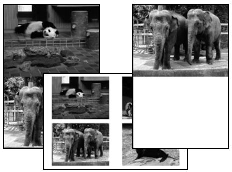
◆印刷したい写真の印刷部数を指定して印刷→ P.25





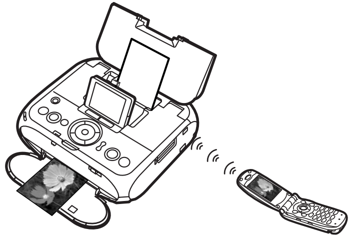
◆好きな写真をシール紙に印刷したり、指定したレイアウトで印刷→ P.27、P.29





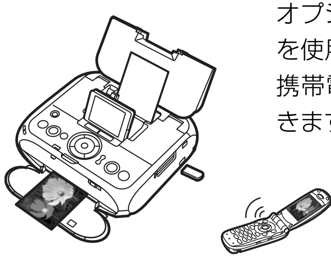
携帯電話や Bluetooth 対応機器からワイヤレス印刷

◆携帯電話の写真をワイヤレス印刷



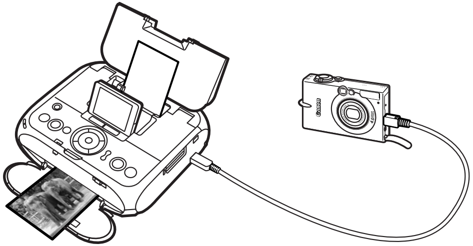
赤外線通信対応の携帯電話で撮った写真を、携帯電話の操作でかんたん印刷。印刷する用紙の種類やサイズ、レイアウトも指定できます。→ P.48

◆Bluetooth 対応機器から写真をワイヤレス印刷



オプションの Bluetooth ユニットを使用すれば、Bluetooth 対応の携帯電話からワイヤレスで印刷できます。→ P.51

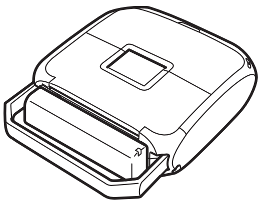
デジタルカメラとプリンタでダイレクト印刷



PictBridge 対応のデジタルカメラ、デジタルビデオカメラを接続すれば、カメラの操作で直接写真が印刷できます。
→ P.41

オプションバッテリを使って屋外で印刷

オプションのポータブルキット（LK-60）を使用すれば、外出先などでも写真を気軽に印刷できます。→ P.99



パソコンと接続すると

◆パソコンからの印刷はもちろん OK

付属のアプリケーションソフト Easy-PhotoPrint を使えばデジタルカメラで撮った写真と用紙を選ぶだけで、かんたんにフチなし全面印刷！

カードスロットをメモリーカード用ドライブに使用！

プリンタのカードスロットを、パソコンのメモリーカード用ドライブとして設定でき、メモリーカードへの書き込みも可能です。

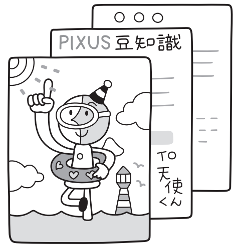
※ 本プリンタに対応のメモリーカードについては「メモリーカードをセットする」（P.20）を参照してください。

重要

メモリーカード用マルチドライブとして使用する場合は、[カード書き込み状態］を［書き込み可能］に設定する必要があります。
メモリーカードへの書き込み操作が終了したら、[書き込み禁止］に設定を戻してください。カードスロットを［書き込み可能］に設定すると、メモリーカードからの印刷ができなくなります。
操作方法については、『プリンタガイド（電子マニュアル）』の「メモリーカードのデータをパソコンで使用する」を参照してください。

インクはどのように使われるの？

その1　ほとんどのインクは印刷に使用されています



思い出の写真をキレイに楽しく印刷してね！

その2　クリーニングでも少量のインクが使われます



きれいな印刷を保てるように、状況に応じて自動的にクリーニングを行います。
クリーニングとは、インクがふき出されるノズルから、わずかにインクを吸い出し、目づまりなどを防止する機能です（クリーニングは手動で行うこともできます）。
クリーニングなどで使用したインクは、プリンタ内部の「インク吸収体」とよばれる部分に吸収されます。

インク吸収体が満杯になると交換が必要になります。インク吸収体はお客様ご自身で交換はできませんので、必ずお客様相談センターまたは修理受付窓口に交換をご依頼ください。満杯になる前に、液晶モニターでお知らせします。
詳しくはこちら ➔　「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.79）

その3　各色のインクのなくなりかたは均一なの？

印刷する画像の色合いや、印刷物の内容によって異なります。

～PIXUS豆知識　その2～
とくべつな用紙だから、「失敗したくない！」ときには



ポイント　印刷前にプリンタの様子を確認しよう！

プリントヘッドの調子は OK?

↓

ノズルチェックパターンで確認できます。

詳しくはこちら ➔ 「ノズルチェックパターンを印刷する」(P.62)

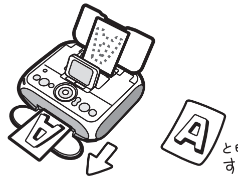
プリンタの内部がインクで汚れていないかな？

↓

大量に印刷したあとや、フチなし印刷を行ったあとは、用紙の通過部分がインクで汚れている場合があります。
インク拭き取りクリーニングで、プリンタの内部をおそうじできます。

詳しくはこちら ➔ 「インク拭き取りクリーニングを行う」(P.74)

ポイント　用紙のセットのしかたは大丈夫？



はがきのセット

通信面を先に印刷してください。

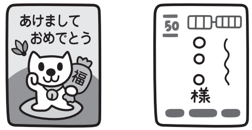
詳しくはこちら ➔ 「用紙をセットする」(P.17)

反っている用紙は水平に伸ばしてからセットしてね

詳しくはこちら ➔「困ったときには」(P.79)

両面に印刷するときは

通信面 ➡ 宛名面



の順に印刷してね！

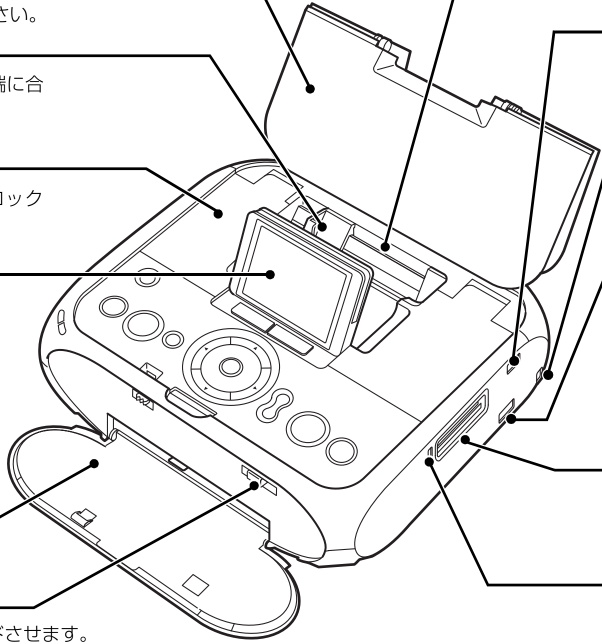
ポイント　用紙に合わせてキレイに印刷！

操作パネルや接続するカメラの［用紙の種類］をセットした用紙に合わせてね

プリンタは最適な画質になるように、お使いの用紙に合わせて印刷方法を変えています。
どのような紙をセットしたのか、プリンタに伝えると、最適な画質に合わせて印刷できます。

各部の名称について

前面



給紙トレイ
セットした用紙を支えます。
印刷する前に開いて中央で折り曲げてください。

用紙ガイド
用紙をセットしたときに動かし、用紙の左端に合わせます。

本体カバー
インクタンクの交換や紙づまりのときにロックスイッチをスライドさせて開けます。

液晶モニター
印刷する写真や、メニュー、設定項目が表示されます。
プリンタの電源を入れた状態で 5 分以上操作パネルでボタン操作を行わない場合、液晶モニターがスリープモードになり、画面が消えます。(OK) ボタンを押すとスリープモードは解除され、画面は元に戻ります。

排紙トレイ
印刷された用紙が排出されます。

ロックスイッチ
本体カバーを開けるときに、右側へスライドさせます。

オートシートフィーダ
ここに用紙をセットします。

赤外線通信ポート
赤外線通信で携帯電話から送られてきた写真データを受信します。→ P.48

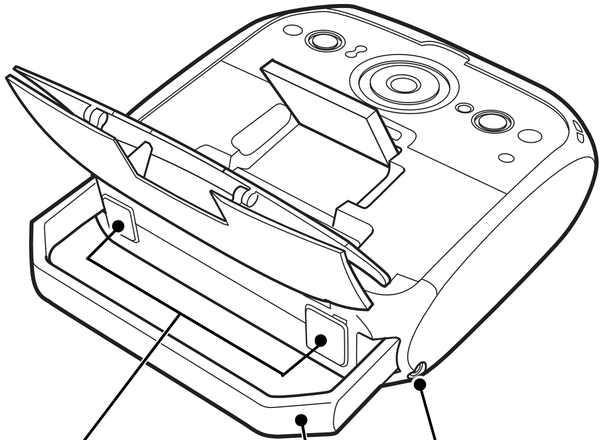
USB ケーブル接続部
USB ケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

カメラ接続部
PictBridge 対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラから直接印刷するときに使います。→ P.41
オプションの Bluetooth ユニットを接続して、Bluetooth 対応機器からワイヤレスで印刷するときに使います。
→ P.51

カードスロット
メモリーカードをセットします。
→ P.22

アクセスランプ
メモリーカードをセットすると点灯し、読み取り／書き込み中は点滅します。

背面



バッテリコネクタカバー

オプションのポータブルキットを接続する場合に取り外します。取り付け方法については、ポータブルキットに付属の取扱説明書をご覧ください。

AC アダプタ接続部

付属の AC アダプタのプラグを接続するためのコネクタです。

キャリングハンドル

プリンタを持ち運ぶときに引き出します。

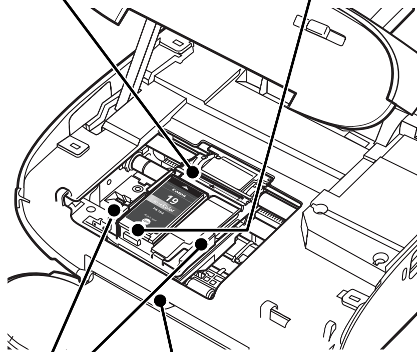
内部

プリントヘッドホルダ

プリントヘッドを取り付けます。

インクランプ

赤色に点灯／点滅し、インクタンクの状態を知らせます。



プリントヘッド固定レバー

プリントヘッドを固定します。

重要

プリントヘッドを取り付けたら、このレバーを上げないでください。

紙間選択レバー

(右側)：通常はこの状態で印刷してください。

(左側)：印刷面に汚れやこすれが目立つときに切り替えます。→ P.88

参考

プリントヘッドとインクタンクの取り付け方法は、『かんたんスタートガイド』を参照してください。

インクランプの表示について

- インクランプの表示により、インクタンクの状態を確認できます。

  点灯

  印刷可能な状態です。

  ゆっくり点滅（約 3 秒間隔）

  インクが少なくなっています。印刷にかすれがあるときは、インクタンクを交換してください（→ P.67）。かすれがなければ印刷を続行することはできますが、途中で正しく印刷されなくなる可能性があります。交換用インクタンクのご用意をお勧めします。

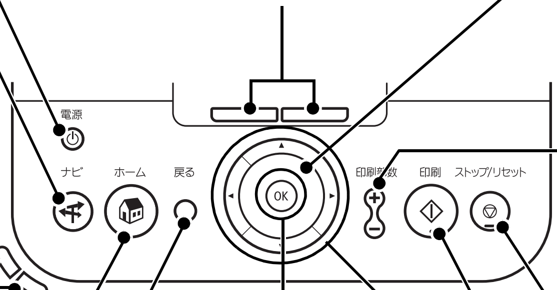
  はやく点滅（約 1 秒間隔）

  インクがなくなっているか、エラーが発生し、印刷できない状態です。液晶モニターに表示されるエラーメッセージを確認し、エラーの対処をしてください。→「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」(P.79)

  消灯

  インクタンクが正しく取り付けられているか確認してください。インクタンクを取り付け直してもインクランプが消灯している場合は、エラーが発生し、印刷できない状態です。液晶モニターに表示されるエラーメッセージを確認し、エラーの対処をしてください。→「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」(P.79)

操作パネルの名称と役割



電源ボタン

電源を入れる／切るときに押します。→ P.15

ナビボタン

お使いになりたい機能をかんたんな操作で呼び出します。→ P.12

電源ランプ

電源のオン／オフや、プリンタの状態を知らせます。

エラーランプ

プリンタにトラブルが起こっていることを知らせます。トラブルの内容は液晶モニターに表示されます。→ P.79

ホームボタン

ホーム画面を表示するときに使います。→ P.11

戻るボタン

1 つ前の画面に戻ります。

ファンクションボタン（右）／（左）

液晶モニターの下に表示されるメニューを選ぶときに使います。→ P.12

OK ボタン

メニュー項目や設定項目を確定します。また印刷途中でのエラーから復帰するときや、紙づまりを取り除いたあと、復帰するときに使います。

Easy-Scroll Wheel（イージースクロール ホイール）

メニュー項目や設定項目を選ぶときに左右に回して使います。→ P.11

＋－ボタン

印刷部数を指定します。

ストップ／リセットボタン

設定した内容を取り消します。また、印刷中にこのボタンを押すと、印刷を中止します。

印刷ボタン

印刷の確認画面に表示された設定内容にしたがって、印刷を開始します。

◀▶▲▼ ボタン

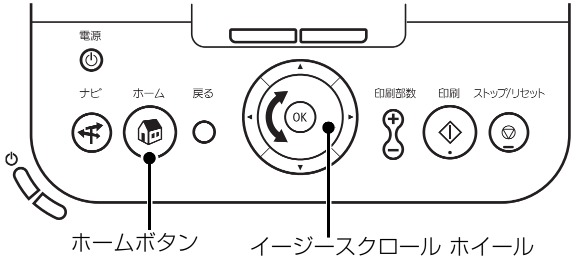
メニュー項目や設定項目を選ぶときは、イージースクロール ホイール以外に ◀▶▲▼ ボタンでも操作することができます。

参考 **電源ランプの表示について**

電源ランプの表示により、プリンタの状態を確認できます。

消灯	電源がオフの状態です。
点灯	印刷可能な状態、印刷中、またはプリンタの動作中です。
点滅	プリンタの電源オン、またはオフの処理中です。

操作パネルの基本操作について



イージースクロール ホイール

左右に回して項目を選ぶことができます。選ばれている項目は、色が反転したり、囲みが付いたりします。項目は ◀▶▲▼ ボタンでも選ぶことができます。

ホームボタン

ホーム画面から各メニューを表示させるまでの手順を説明します。

1 ホーム画面を表示する



❶ ホームボタンを押します。

ホーム画面が表示されます。

2 メニューを選ぶ



❶ イージースクロール ホイールを回してメニューを選び、OKボタンを押します。

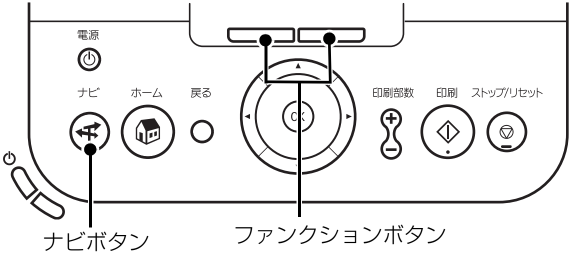
例：［いろいろ印刷］を選びます。
選んだメニューの画面が表示されます。

ホーム画面では以下のメニューを選ぶことができます。

選んで印刷	メモリーカードに保存されている写真を液晶モニターで見ながら 1 枚ずつ印刷したり、印刷部数を指定して印刷できます。→ P.25
レイアウト印刷	指定したレイアウトに、好きな写真を貼り付けて印刷できます。→ P.27
いろいろ印刷	写真をすべて印刷することや、好みの色あいで印刷すること、カメラ側で選んだ写真を印刷することなどができます。また、写真の一覧や、撮影情報も印刷できます。→ P.33
設定	プリンタのお手入れをしたり、プリンタの設定を変更することができます。詳しくは、「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.61）、「清掃する」（P.73）および「プリンタの設定を変更する」（P.76）を参照してください。
シール紙印刷	お気に入りの写真にフレームを付けて、キヤノン純正のシール紙に印刷できます。→ P.29

スライドショー　メモリーカードの写真を　1　枚ずつ順に液晶モニターに表示することができます。→ P.36

その他のボタン



◆ナビボタン

目的別メニューから、やりたいことをかんたんに探すことができます。やりたいことを選んで、OK ボタンを押してください。

◆ファンクションボタン

液晶モニターの下に表示されるメニューは、2 つのファンクションボタンで選ぶことができます。

液晶モニターに表示された画面に応じて、ファンクションボタンを押したときに表示される画面は異なります。



❶ ファンクションボタン（左）

ホーム画面では、ファンクションボタン（左／［インク残量]）を押すと、インク残量画面が表示されます。

❷ ファンクションボタン（右）

ホーム画面では、ファンクションボタン（右／［機能紹介]）を押すと、選んだメニューの機能紹介が表示されます。

その他の画面で押すと、操作方法やメニューなどが表示されます。

ホーム画面の表示について

ホームボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。
この画面に表示されるメニュー項目を使っていろいろな印刷やプリンタのお手入れができます。



選んで印刷

メモリーカードに保存されている写真を液晶モニターに１枚ずつ表示し、お気に入りの写真を印刷できます。→ P.25

いろいろ印刷

- インデックス印刷
- DPOF 印刷
- 色あい調節印刷
- すべての写真を印刷
- 撮影情報印刷

インデックス印刷や DPOF 印刷など、いろいろな機能を使って写真を印刷できます。→ P.33

レイアウト印刷

- ２面フチなし
- ２面フチあり
- ４面フチなし
- ４面フチあり
- ８面フチなし
- ８面フチあり
- 絵はがきフチなし
- 絵はがきフチあり
- 絵はがき（罫線）フチなし
- 絵はがき（罫線）フチあり
- アルバム４面（写真右）
- アルバム４面（写真左）

さまざまなレイアウトで写真を印刷できます。→ P.27

スライドショー

メモリーカードに保存されている写真を順に表示することができます。→ P.36

次ページへ

シール紙印刷

- ▼ 16 面シール
- ▼ 9 面シール
- ▼ 4 面シール
- ▼ 2 面シール
- ▼ フリーカット 1
- ▼ フリーカット 2
- ▼ フリーカット 3
- ▼ フリーカット 4

お気に入りの写真にフレームを付けて、シール紙に印刷できます。→ P.29

設定

▼ メンテナンス

- ノズルチェックパターン
- クリーニング
- 強力クリーニング
- ヘッド位置調整－自動
- ヘッド位置調整－手動
- ヘッド位置調整値印刷
- 給紙ローラクリーニング
- インクふき取り



プリンタのメンテナンスや各設定のメニューが選べます。→ P.61、P.76

▼ 各設定

- 印刷設定
- ワイヤレス印刷設定
- Bluetooth 設定 *
- PictBridge 設定
- その他の設定
- 言語選択
- 設定リセット
- 用紙設定保存
- 用紙設定呼出

* ［Bluetooth 設定］は、Bluetooth アダプタ接続時のみ表示されます。

プリンタの電源を入れる／切る

プリンタの電源の入れかたや切りかたについて説明します。

電源を入れる

プリンタの電源を入れる前に、プリントヘッドとインクタンクがセットされていることを確認してください。

参考

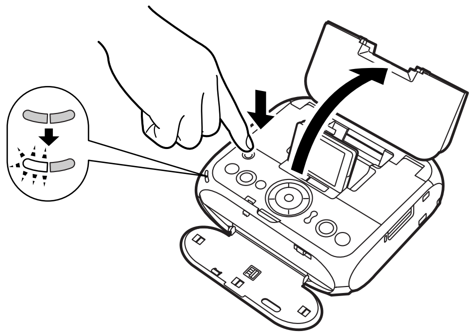
プリントヘッドとインクタンクがセットされていない場合は、『かんたんスタートガイド』にしたがって準備してください。

1 電源コードをつなぐ

AC アダプタのプラグを本プリンタに差し込み、もう片方をコンセントに差し込みます。

2 給紙トレイを開き、プリンタの電源ボタンを押して電源を入れる

電源ランプが点滅後、点灯します。
液晶モニターにホーム画面が表示されます。



参考

エラーランプがオレンジ色に点灯し、液晶モニターにエラーメッセージが表示された場合は、「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.79）を参照してください。

電源を切る

プリンタの電源を切るときは、以下を確認してください。

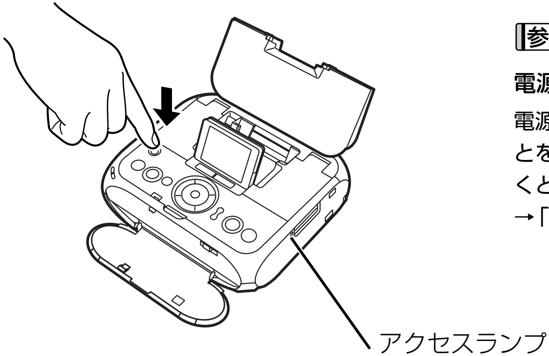
- アクセスランプが点滅していないこと
- プリンタが動作していないこと
- 印刷を開始していないこと

重要

アクセスランプが点滅しているときにメモリーカードを取り出したり、プリンタの電源を切ると、メモリーカードのデータが破損することがあります。

1 プリンタの電源ボタンを押して電源を切る

電源ランプの点滅が終わると電源が切れます。



参考

電源プラグについて

電源を切ったあと、電源プラグを抜くときは、必ず電源ランプが消灯していることを確認してください。電源ランプが点灯・点滅しているときに電源プラグを抜くと、その後印刷できなくなることがあります。

→「きれいな印刷を保つために（プリントヘッドの乾燥・目づまり防止）」(P.71)

用紙をセットする

設定できる用紙サイズと用紙の種類、用紙のセット方法について説明します。

用紙について

参考

設定できる用紙サイズと用紙の種類については「使用できる用紙の種類」（P.19）をご覧ください。

使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。また、一般のはがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断した用紙を使用しないでください。

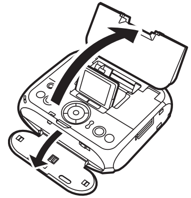
- 折れている／反りのある／しわが付いている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ 64 g/m² 未満）
- 厚すぎる用紙（キヤノン純正紙以外で重さ 105 g/m² を超えるもの）
- 絵はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- 穴のあいている用紙
- 長方形以外の形状の用紙
- ステープルや粘着剤などでとじている用紙
- 粘着剤の付いた用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙

用紙のセット方法について

1 プリンタの電源を入れる

❶ 給紙トレイを開き、中央で折り曲げます。

❷ プリンタの電源を入れます。→ P.15

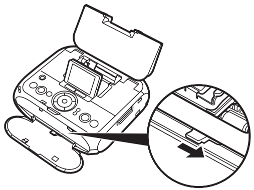


2 セットする用紙をそろえる

参考

用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してからセットしてください。→ P.88

3 紙間選択レバーが右側になっていることを確認する

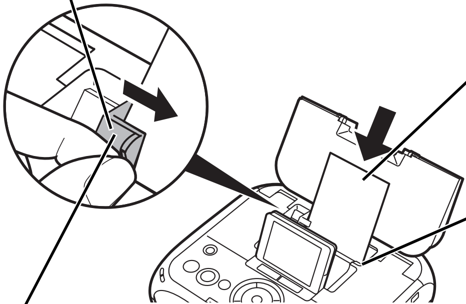


参考

印刷するときは、紙間選択レバーを右側にセットしてください。印刷面にこすれや汚れがあるときのみ、左側にセットしてください。

4 用紙をセットする

用紙ガイドの厚みを超えないようにセットする



❶ 印刷面（より光沢のある面）を上にしてセットします。スーパーフォトペーパーSP-101Lで20枚までセットできます。

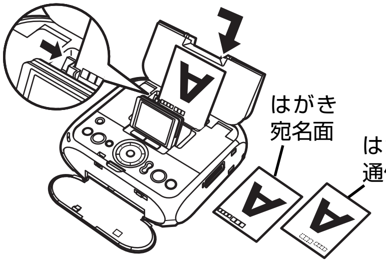
❷ オートシートフィーダの右端に合わせ、用紙をまっすぐにセットします。

❸ 用紙ガイドを動かし、用紙の左端に合わせます。

参考

- お使いのシール紙にオレンジの●マークがついている場合は、●マークがついている面を上にしてセットしてください。
- インクが乾くまで印刷した用紙の表面に触れないでください。

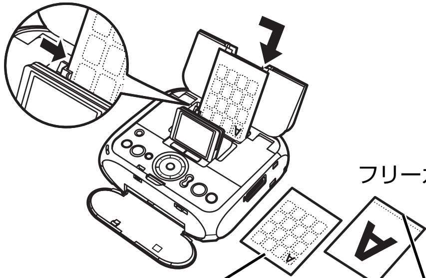
●ハガキをセットする場合



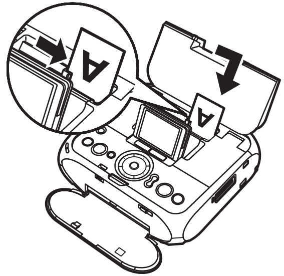
重要

郵便番号を下にしてセットしてください。

●シール紙をセットする場合



●名刺／カードをセットする場合



重要

必ず縦長にセットしてください。

使用できる用紙の種類

設定できる用紙サイズと用紙の種類について説明します。

用紙の名称	型番	最大積載枚数	用紙サイズ	用紙の種類
フォト光沢ハガキ	KH-201N	20 枚	[はがき]	[光沢紙]
プロフェッショナルフォトはがき *1	PH-101	20 枚	[はがき]	[プロフォトペーパー]
エコノミーフォトペーパー	EC-101L	20 枚	[L 判]	[光沢紙]
	EC-101 カード	20 枚	[カード]	[光沢紙]
	EC-201L	20 枚	[L 判]	[光沢紙]
スーパーフォトペーパー *1	SP-101 L	20 枚	[L 判]	[スーパーフォト]
キヤノン写真用紙・絹目調 *1	SG-201 L	20 枚	[L 判]	[スーパーフォト]
プロフェッショナルフォトペーパー *1	PR-101 L	20 枚	[L 判]	[プロフォトペーパー]
	PR-101 ワイド	20 枚	[ワイド]	[プロフォトペーパー]
マットフォトペーパー	MP-101 L	20 枚	[L 判]	[マットフォト]
ピクサス プチシール *2（16 面光沢フォトシール）	PS-101	1 枚	− *2	−
ピクサス プチシール・フリーカット *2	PS-201	1 枚	− *2	−
フォトシールセット *2（2 面／ 4 面／ 9 面／ 16 面）	PSHRS	1 枚	− *2	−
片面光沢名刺用紙	KM-101	20 枚	[名刺]	[スーパーフォト]
両面マット名刺用紙	MM-101	20 枚	[名刺]	[スーパーフォト]

*1 : 用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡が付いてしまう場合があります。その場合は、用紙を 1 枚ずつセットしてください。

*2 : 印刷するときは、[シール紙印刷] を選び印刷してください。→ P.29
携帯電話の写真を印刷するときは、「ワイヤレス通信対応機器から印刷する」（P.48）をご覧ください。

参考

ハイグレードコートはがき（CH-301）、一般のはがき、インクジェットはがき、インクジェット光沢はがき、年賀はがき、インクジェット年賀はがき、写真用年賀はがきは、パソコンと接続して印刷することができます。

メモリーカードをセットする

使用できるメモリーカード、各メモリーカードのセット方法と取り出し方法について説明します。

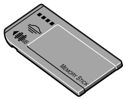
使用できるメモリーカードについて

カードスロットに直接セット可能なメモリーカード

●コンパクトフラッシュ（CF）カード
●マイクロドライブ
※ TYPE Ⅰ /TYPE Ⅱ（3.3V のカードのみ対応しています）



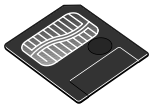
●メモリースティック
●メモリースティック PRO



●SD メモリーカード
●マルチメディアカード（ver.3.31）



●スマートメディア
※ 3.3V のカードのみ対応しています。
1MB/2MB のカードは対応していません。

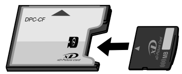


カードアダプタを使用してカードスロットにセットするメモリーカード

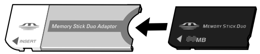
重要

カードアダプタを取り付けないまま、メモリーカードをカードスロットにセットすると、メモリーカードが取り出せなくなる場合があります。必ず、カードアダプタに取り付けてからセットしてください。

●xD-Picture カード *1



●メモリースティック Duo*2
●メモリースティック PRO Duo*2



●miniSD カード *2



*1： 別途 xD-Picture カード用コンパクトフラッシュカードアダプタをお買い求めください。推奨アダプタ（2006 年 4 月現在）
・富士写真フイルム株式会社製　型番：DPC-CF
*2： カードに付属のカードアダプタを使用してください。

参考

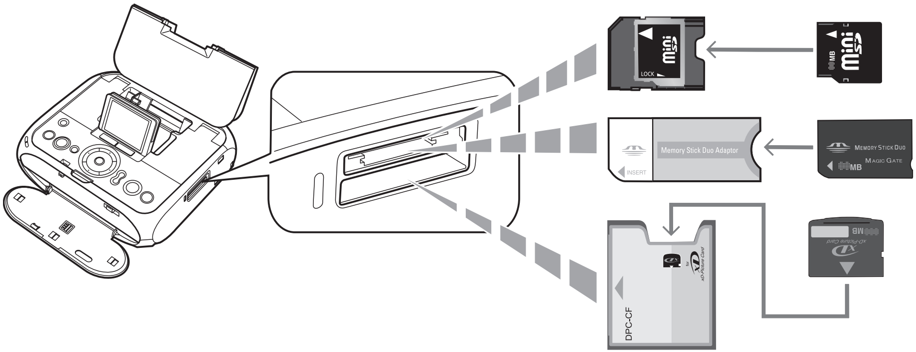
- 本プリンタは、DCF® 規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif 準拠）、TIFF（Exif 準拠）、および DPOF（Ver 1.00 準拠）に対応しています。
- デジタルカメラが動作を保障していないメモリーカードに撮影／保存されている写真は、読み込めない場合やデータが破損する場合があります。デジタルカメラが動作を保障しているメモリーカードについては、デジタルカメラに付属の取扱説明書を参照してください。
- メモリーカードは、デジタルカメラでフォーマットしてください。パソコン固有のフォーマットには対応していません。
- パソコンで編集した写真は、正しく印刷できないことがあります。
- 一度に複数のメモリーカードをセットしないでください。
- プリンタの設定の［カード書き込み状態］で［書き込み可能］にしている場合は、メモリーカードの写真が印刷できません。プリンタのカードスロットをパソコンのメモリーカード用ドライブとして操作したあとは、メモリーカードを抜いてから［カード書き込み状態］を［書き込み禁止］に設定してください。詳しくは、「プリンタの設定を変更する」（P.76）を参照してください。

メモリーカードをカードスロットにセットする

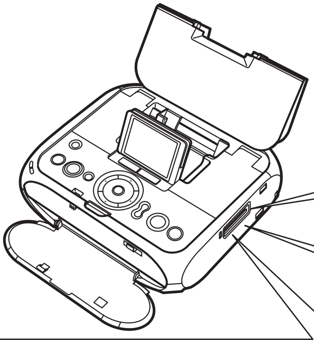
本プリンタにはカードスロットが 2 つあります。メモリーカードの表裏をよく確認して、対応するカードスロットにメモリーカードが止まるまで挿入してください。正常にセットされると、アクセスランプが点灯します。メモリーカードは少しはみ出た状態になります。

重要

- 1 種類のメモリーカードのみをセットしてください。
- xD-Picture カード／メモリースティック Duo ／メモリースティック Pro Duo ／ miniSD カードをご使用の場合は、必ず、メモリーカード専用のカードアダプタに取り付けてからカードスロットにセットしてください。

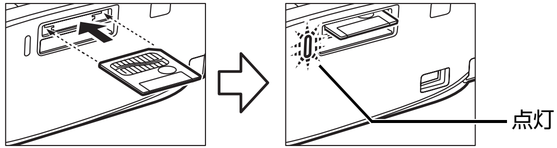


誤ってカードアダプタに取り付けないでカードスロットに挿入してしまった場合は、「困ったときには」の「メモリーカードが取り出せない」(P.83) を参照してください。



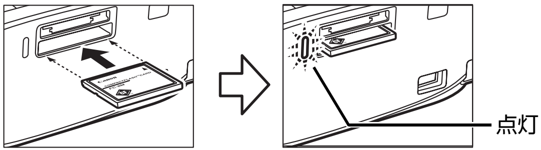
●スマートメディア

上側のカードスロットにセットします。



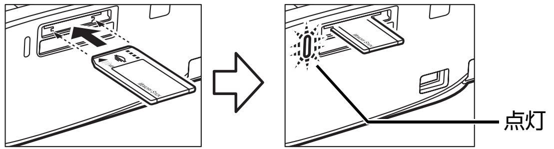
●コンパクトフラッシュ
●マイクロドライブ
●xD-Picture カード

下側のカードスロットにセットします。



●メモリースティック
●メモリースティック PRO
●メモリースティック Duo
●メモリースティック PRO Duo
●SD メモリーカード
●miniSD カード
●マルチメディアカード（ver.3.31）

上側のカードスロットにセットします。



●メモリーカードがスロットからはみ出した状態になりますが、それ以上無理に押し込まないでください。無理に押し込むとプリンタやメモリーカードの破損につながります。
●メモリーカードの向きをよく確認して、カードスロットにセットしてください。間違った向きで無理にセットすると、プリンタやメモリーカードが破損するおそれがあります。

メモリーカードを取り出す

参考

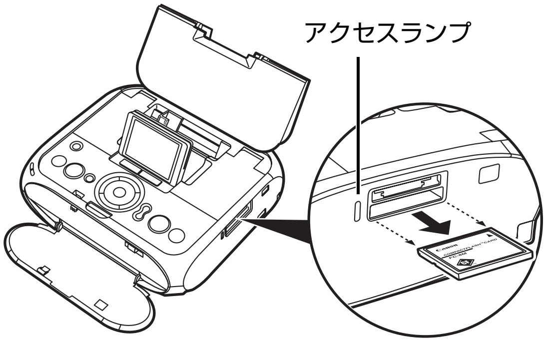
プリンタをパソコンと接続して使用している場合は、パソコン側での取り外し操作が必要になります。操作方法については、『プリンタガイド（電子マニュアル）』の「メモリーカードのデータをパソコンで使用する」をご覧ください。

1 アクセスランプが点滅していないことを確認してカードを取り出す

カードのはみ出した部分をつまんで、カードを取り出してください。

重要

アクセスランプが点滅しているときはメモリーカードを取り出したり、プリンタの電源を切らないでください。メモリーカードのデータが破損することがあります。



かんたんに写真を印刷する

プリンタにデジタルカメラで撮影したメモリーカードをセットすると、メモリーカードに保存されている写真を液晶モニターで見ることができます。写真を見ながら印刷部数を指定して印刷してみましょう。

参考

- 液晶モニターは 5 分間プリンタを何も操作しないとスリープモードになり、消灯します。OK ボタンを押すと復帰します。液晶モニターが消灯するまでの時間は変更することができません。
- オプションのバッテリ使用時は、スリープモードに入ってさらに 5 分経過すると、自動的に電源が切れます。

写真を選んで印刷する－選んで印刷

メモリーカードの写真を、液晶モニターに表示して確認しながら印刷します。

1 印刷の準備をする

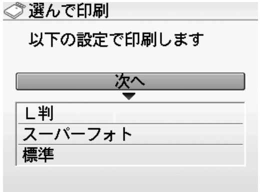
❶ プリンタの電源を入れます。→ P.15

❷ 用紙をセットします。→ P.17

❸ メモリーカードをカードスロットにセットします。→ P.22

2 ［選んで印刷］を選び、OKボタンを押す

印刷設定画面が表示されます。



参考

●設定内容を変更するときは、各項目を選んでOKボタンを押してください。→ P.32

3 用紙サイズや用紙の種類などを確認し、［次へ］を選んでOKボタンを押す

写真選択画面が表示されます。

参考

●写真を読み込み中は、液晶モニターに ⌛ が表示される場合があります。

4 印刷したい写真を選び、写真ごとに印刷部数を指定する



❶ イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンで印刷したい写真を表示します。

❷ ＋－ボタンで印刷部数を指定します。

❸ 手順①、②を繰り返し、印刷したい写真ごとに印刷部数を指定します。

❹ OKボタンを押します。

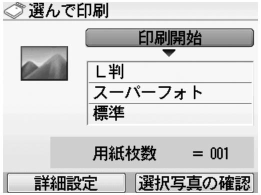
印刷設定確認画面が表示されます。

参考

こんなこともできます

●表示方法を変更する→ P.36
●印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定→ P.37
●印刷する範囲を指定する－トリミング→ P.38

5 印刷を開始する



❶ 用紙サイズ、用紙の種類を確認します。→ P.32

❷ 印刷ボタンを押します。

印刷が開始されます。

参考

- フチなしなど、詳細設定を確認／変更するときは、ファンクションボタン（左／［詳細設定］）を押します。→ P.39
- 用紙サイズが［カード］または［名刺］のときに［日付 ON］と［画像番号 ON］を同時に設定した場合は、日付のみが印刷されます。日付と画像番号を同時に印刷することはできません。画像番号を印刷したい場合は、［日付 OFF］に設定してください。
- 印刷前に選択した写真を確認したいときは、ファンクションボタン（右／［選択写真の確認］）を押します。
- 印刷を中止するときは、ストップ／リセットボタンを押します。

1 枚の用紙に複数の写真を貼り込んで印刷するーレイアウト印刷

指定したレイアウト（2／4／8 面、絵はがき、アルバム）に、好きな写真を貼り付けて印刷できます。

2 面 フチなし　4 面 フチなし　8 面 フチなし　絵はがき フチなし　絵はがき（罫線）フチなし



2 面 フチあり　4 面 フチあり　8 面 フチあり　絵はがき フチあり　絵はがき（罫線）フチあり



アルバム 4 面（写真右）　アルバム 4 面（写真左）



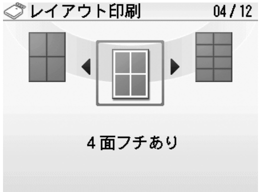
参考

巻末のレイアウトサンプルもご覧ください。

1 印刷の準備をする→ P.25

2 ［レイアウト印刷］を選び、OKボタンを押す

3 イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンでレイアウトを選び、OKボタンを押す



4 用紙サイズや用紙の種類などを確認し、［次へ］を選んでOKボタンを押す

5 貼り込み方法を選ぶ

［自動で貼り込む］→次に表示されるレイアウト印刷画面で、［日付指定］か［すべての写真］を選択し、手順 7 へ進みます。
メモリーカード内のすべての写真を指定したレイアウトに自動で貼り込むことができます。

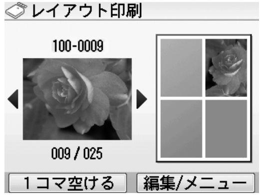
参考

こんなこともできます

●印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定→ P.37

［1 枚ずつ指定する］→手順 6 へ進みます。
指定したレイアウトに貼り込む写真を 1 枚ずつ指定します。

6 写真を 1 枚ずつ貼り込む



❶ イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンで印刷したい写真を表示し、OKボタンを押します。

写真がレイアウト枠に貼り込まれます。

❷ 手順①を繰り返し、写真を貼り込みます。

❸ 貼り込みが終了したら、レイアウトを確認してOKボタンを押します。

印刷設定確認画面が表示されます。

参考

●印刷する範囲を指定する－トリミング→ P.38
●直前の指定を取り消す場合は、戻るボタンを押します。
●コマに写真を貼り込まない場合は、写真を貼り込む画面でファンクションボタン（左／［1 コマ空ける］）を押します。

●すべての貼り込みを取り消す場合は、ストップ／リセットボタンを押します。
●複数ページに同時に貼り込むことはできません。1 ページずつ貼り込んで印刷してください。

7 印刷を開始する

❶ ＋－ボタンで印刷部数を指定します。

❷ 印刷ボタンを押します。

指定したレイアウトで写真が印刷されます。

参考

●明るさなど、詳細設定を確認／変更するときは、ファンクションボタン（左／［詳細設定］）を押します。→ P.39
●［日付 ON］と［画像番号 ON］を同時に設定した場合は、日付のみが印刷されます。日付と画像番号を同時に印刷することはできません。画像番号を印刷したい場合は、［日付 OFF］に設定してください。
●印刷を中止するときは、ストップ／リセットボタンを押します。

シール紙に印刷する－シール紙印刷

お気に入りの写真にフレームを付けて、キヤノン純正のシール紙に印刷できます。

2 面シール



4 面シール



9 面シール



16 面シール



フリーカット 1



フリーカット 2



フリーカット 3



フリーカット 4



1 印刷の準備をする→ P.25

→ P.25

2 ［シール紙印刷］を選び、(OK)ボタンを押す

3 イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンでレイアウトを選び、(OK)ボタンを押す



参考

印刷できるシール紙とレイアウトの選択について

キヤノン純正のシール紙は以下のとおりです。シール紙に対応したレイアウトを指定してください。

- **ピクサス プチシール PS-101**
  レイアウトで［16 面シール］を指定してください。
- **フォトシールセット PSHRS**
  レイアウトで印刷する用紙に合わせて［2 面シール］／［4 面シール］／［9 面シール］／［16 面シール］を指定してください。
- **ピクサス プチシール・フリーカット PS-201**
  レイアウトで［フリーカット 1］～［フリーカット 4］のいずれかを指定してください。

※用紙のセット方法については「用紙のセット方法について」（P.17）を確認してください。

4 印刷したい写真を選ぶ

❶ イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンで印刷したい写真を表示します。

❷ (OK)ボタンを押します。

フレームを選ぶ画面が表示されます。

参考

こんなこともできます

- 表示方法を変更する－表示方法を変更→ P.36
- 印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定→ P.37
- 印刷する範囲を指定する－トリミング→ P.38

5 フレームを選ぶ

❶ イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンでフレームを選びます。

参考

- 一度にセットできる枚数は 1 枚です。
- フレームなしで印刷する場合は、フレーム選択画面でファンクションボタン（左／［フレームなし］）を押してください。
- 写真が逆さまのときは、▲▼ ボタンでフレームを 180 度回転させると、写真の上下に合わせて印刷できます。

●フレームに合わせて写真を 90 度回転させたい場合は、トリミング編集でトリミング範囲を回転して、トリミングの設定をしてください。「印刷する範囲を指定する−トリミング」（P.38）を参照してください。

❷ (OK)ボタンを押します。

印刷設定確認画面が表示されます。

6 印刷を開始する

❶ ＋－ボタンで印刷部数を指定します。

❷ 印刷ボタンを押します。

シール紙に写真が印刷されます。

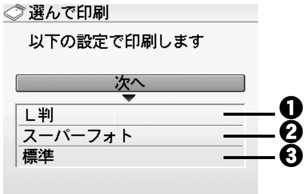
参考

シール紙に印刷するときは、用紙のセット方向に注意してください。→「用紙のセット方法について」（P.17）

用紙の設定画面について

ここでは、メモリーカードの写真を印刷する操作の中で表示される、印刷設定画面や印刷設定確認画面について説明します。

印刷設定画面や印刷の前に表示される印刷設定確認画面には、以下の項目があります。





❶ 用紙サイズを設定できます。
カード／名刺／はがき／L判／ワイド 101 × 180

❷ 用紙の種類を設定できます。
光沢紙／マットフォト／スーパーフォト／プロフォトペーパー

❸ 印刷品質を設定できます。
標準／きれい（画質優先）

用紙設定の操作

1 印刷設定画面または印刷設定確認画面が表示されたときに、設定する項目を選び、OKボタンを押す

選んだ項目の設定画面が表示されます。

2 用紙サイズや用紙の種類を選び、OKボタンを押す

参考

- 印刷設定画面の場合は、［次へ］を選び、次の手順に進みます。
- 印刷設定確認画面の場合は、印刷ボタンを押すと印刷が開始されます。

いろいろな印刷機能を使う

メモリーカードの写真のいろいろな印刷が楽しめます。

1 **印刷の準備をする** **→ P.25**

2 **メモリーカードをカードスロットにセットする** **→ P.22**

写真の一覧を印刷する－インデックス印刷

メモリーカードに保存されているすべての写真の一覧を印刷できます。

以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［いろいろ印刷］→［インデックス印刷］

参考

印刷される写真の面数は用紙サイズによって異なります。
L 判：15 面、はがき：24 面、名刺／カード：6 面、／ワイド：28 面

カメラ側で選んだ写真を印刷する－DPOF 印刷

デジタルカメラで DPOF（Digital Print Order Format）の設定を行った場合、設定した内容にしたがった印刷が自動で行えます。

以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［いろいろ印刷］→［DPOF 印刷］

参考

- 本プリンタでは、以下の DPOF 機能に対応しています。
  対応画像形式：CIFF、Exif（Tiff にも対応）、JFIF
  プリントスタイル―スタンダードプリント：DPOF でスタンダードプリントを指定した写真を印刷
  プリントスタイル―インデックスプリント：DPOF でインデックスプリントを指定した写真を、本プリンタのインデックス印刷のレイアウトに合わせて印刷
  印刷写真の指定：DPOF で指定した写真のみ印刷（操作パネルから指定できません）
  印刷枚数の指定：DPOF で指定した枚数を印刷（操作パネルから指定できません）

上記以外の機能（写真のコメントやタイトル、トリミング、写真回転など）には対応していません。
●印刷は用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。用紙サイズにより、写真の上下左右がカットされて印刷される場合があります。
●撮影日の日付並び順は、DPOF の設定にしたがって印刷されます。

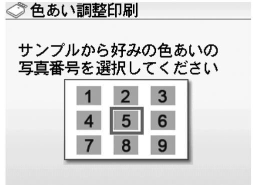
好みの色あいで印刷する－色あい調整印刷

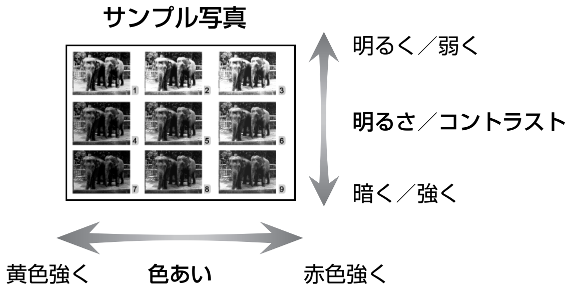
印刷したい写真のサンプルを 1 枚の用紙に 9 パターンの色あいで印刷します。その中からお好みの色あいを選んで印刷できます。
以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［いろいろ印刷］→［色あい調整印刷］

参考

●サンプル印刷された 9 パターンの写真を見て、好みの色あいの番号を画面から選んでください。





●用紙によっては、色が落ちつくまでに数分かかることがあります。サンプル写真の色が落ちついてから、好みの色あい番号を選んでみてください。

写真をすべて印刷する－すべての写真を印刷

メモリーカードに保存されている写真をすべて印刷できます。

以下の順に画面を表示します。
ホームボタン→［いろいろ印刷］→［すべての写真を印刷］

撮影情報を印刷する－撮影情報印刷

撮影したときの写真情報（Exif 情報）を、写真の余白に印刷できます。

以下の順に画面を表示します。
ホームボタン→［いろいろ印刷］→［撮影情報印刷］

印刷で使える便利な編集機能

メモリーカードからの印刷では、このほか次のような機能が利用できます。

- 表示方法を変更する－表示方法を変更→ P.36
- 写真を順に表示する－スライドショー→ P.36
- 印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定→ P.37
- 印刷する範囲を指定する－トリミング→ P.38
- 印刷の設定を変更する－詳細設定→ P.39

表示方法を変更する－表示方法を変更

［表示方法を変更］が表示されている画面で、ファンクションボタン（左／［表示方法を変更］）を押すと、写真の表示方法を変更することができます。

標準画面表示：　１枚ずつ写真が表示されます。

９画面表示：　９枚ずつ写真が表示されます。イージースクロール ホイールまたは ◀▶▲▼ ボタンで、写真を選ぶことができます。それぞれの写真について印刷部数を設定できます。

フルスクリーン表示：１枚の写真を画面いっぱいに表示します。

拡大表示：　１枚の写真を２倍の大きさで表示します。◀▶▲▼ ボタンで、表示される範囲を移動することができます。

スライドショー：　自動で次の写真を表示します。ストップ／リセットボタンを押すと終了します。

写真を順に表示する－スライドショー

メモリーカードに保存されている写真を順に液晶モニターに表示して確認できます。
以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［スライドショー］

参考

こんなこともできます

- スライドショーの画質を指定できます。→ P.78

印刷する写真を日付で絞り込む−日付指定

メモリーカードに保存されている写真の数が多いときは、写真の撮影日を指定することで、指定した日付の写真だけを、または指定した範囲の写真だけを表示させたり、印刷することができます。

参考

- ［選んで印刷］、［シール紙印刷］、［いろいろ印刷］の［色あい調整印刷］で絞り込む日付や範囲を指定すると、指定した日付の写真、または指定した範囲の写真だけを表示したり、印刷することができます。
- 印刷する写真を日付で絞り込む前に、すでにレイアウトに貼り込んだ写真がある場合、その写真は絞り込む日付または範囲以外の写真であっても印刷されます。

1 日付指定画面を表示する

- ［編集／メニュー］から設定する場合

❶［編集／メニュー］が表示されている画面で、ファンクションボタン（右／［編集／メニュー］）を押します。

❷［日付範囲指定］を選んで、OKボタンを押します。

日付指定画面が表示されます。

- ［レイアウト印刷］、［インデックス印刷］、［すべての写真を印刷］の印刷範囲の指定画面で［日付指定］から設定する場合

❶［日付指定］を選んでOKボタンを押します。

日付指定画面が表示されます。

2 日付指定方法を設定する

❶ 日付指定方法を選びます。

絞り込む日付を 1 日だけ指定したいときは［1 日のみ指定］を選びます。

絞り込む日付の範囲を指定したいときは［日付範囲指定］を選びます。

❷ OKボタンを押します。

日付を指定する画面が表示されます。

参考

メモリーカードに保存されている写真の数によっては、日付を指定する画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。

3 絞り込む日付範囲を指定する

● ［1 日のみ指定］を選んだ場合



❶ 絞り込む日付を選び、OKボタンを押します。

絞り込みが行われて、指定した日付の写真が表示されます。

● ［日付範囲指定］を選んだ場合



❶ 絞り込みを開始する日付を指定し、OKボタンを押します。

❷ 絞り込みを終了する日付を指定し、OKボタンを押します。

絞り込みが行われて、指定した範囲の写真が表示されます。

参考

- 指定する日付は［各設定］の［日付表示形式］（P.77）にしたがって表示されます。
- 日付指定を解除するには、［編集／メニュー］が表示されている画面でファンクションボタン（右／［編集／メニュー］）を押し、［日付範囲指定解除］を選んで、OK ボタンを押します。

印刷する範囲を指定するートリミング

液晶モニターに表示されている写真のトリミング編集を行うことができます。

参考

印刷設定画面で、用紙サイズや用紙の種類、フチのあり／なしを設定したあと、トリミング編集をしてください。トリミング編集後に用紙設定を変更すると、トリミング編集が用紙に合わせて補正されたり無効になる場合があります。

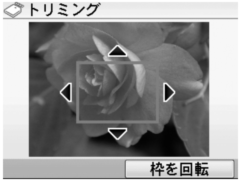
1 トリミング編集したい写真を選ぶ

2 トリミングの編集画面を表示する

❶ ［編集／メニュー］が表示されている画面で、ファンクションボタン（右／［編集／メニュー］）を押します。

❷［トリミング］を選んで、OKボタンを押します。

トリミング編集画面が表示されます。



3 印刷したい範囲をトリミングする

◀▶▲▼ ボタン：トリミング範囲を移動します。
イージースクロール ホイール：トリミング枠の大きさを設定します。時計回りに回すと枠を大きく、反時計回りに回すと枠を小さくすることができます。
ファンクションボタン（右／［枠を回転］）：トリミング枠を回転します。ボタンを押すと、長方形の枠の向きが切り替わります。

4 トリミング範囲を決定する

OKボタンを押します。
トリミング範囲が設定され、元の写真が表示されます。

参考

- トリミングした画像をメモリーカード内に新たに保存することはできません。
- トリミングが設定されている写真にはトリミング範囲が表示されます。
- トリミング範囲を設定後、再度［編集／メニュー］が表示されている画面でファンクションボタン（右／［編集／メニュー］）を押し、［トリミング］を選んで、OKボタンを押すと、前回トリミングした範囲を変更できます。
- トリミング設定の完了後に解除するには、［編集／メニュー］が表示されている画面でファンクションボタン（右／［編集／メニュー］）を押し、［トリミング解除］を選んで、OKボタンを押します。その後、1 画像のみ解除するときは［表示画像のみ］、すべて解除するときは［すべての画像］を選んで、OKボタンを押します。

印刷の設定を変更する－詳細設定

印刷設定確認画面など、［詳細設定］が表示されている画面で、ファンクションボタン（左／［詳細設定］）を押すと、フチなし／ありや明るさ、コントラストなどの設定を変更することができます。

◆［フチ指定］

［フチなし］...... フチを付けずに、用紙全面に印刷します。

［フチあり］...... フチを付けて印刷します。

◆［日付］

［日付 ON］...... 撮影した日付を写真に印刷します。

［日付 OFF］..... 撮影した日付を写真に印刷しません。

◆[画像番号]

［画像番号 ON］..... 画像番号（DCF 番号）を写真に印刷します。

［画像番号 OFF］... 画像番号（DCF 番号）を写真に印刷しません。

参考

以下の項目を選んでいるとき、［日付 ON］と［画像番号 ON］を同時に設定した場合は、日付のみが印刷されます。日付と画像番号を同時に印刷することはできません。画像番号を印刷したい場合は、［日付 OFF］に設定してください。

- ［レイアウト印刷］を選んでいる。
- 用紙サイズの［カード］または［名刺］を選んでいる。

◆[赤目補正　ON]／[赤目補正　OFF]

［赤目補正　ON］を選ぶと、人物の目が赤く写った写真を補正して印刷できます。

◆[VIVID フォト ON]／VIVID フォト OFF]

［VIVID フォト ON］を選ぶと、VIVID フォト機能を有効にし、緑や青色をより鮮やかに印刷します。

◆[オートフォトモード ON]／[オートフォトモード OFF]

［オートフォトモード ON］を選ぶと、写真の色あいや明るさを自動補正する機能が有効になります。

◆[ノイズ除去　ON]／[ノイズ除去　OFF]

［ノイズ除去　ON］を選ぶと、ノイズ除去機能を有効にし、空などの青い部分や、暗い部分のノイズを軽減します。

◆[顔明るく補正　ON]／[顔明るく補正　OFF]

［顔明るく補正　ON］を選ぶと、逆光などで暗くなった人物の顔を明るく印刷します。

◆[携帯画像補正　ON]／[携帯画像補正　OFF]

［携帯画像補正　ON］を選ぶと、輪郭のギザギザをなめらかにして印刷します。

◆明るさ

明るさを調整します。
［明るさ　＋ 2］／［明るさ　＋ 1］／［明るさ　標準］／［明るさ　－ 1］／［明るさ　－ 2］から選べます。

◆コントラスト

コントラストを調整します。
［コントラスト　＋ 2］／［コントラスト　＋ 1］／［コントラスト　標準］／［コントラスト　－ 1］／［コントラスト　－ 2］から選べます。

◆色あい

肌の色あいを調整します。
［肌色　赤＋ 2］／［肌色　赤＋ 1］／［色あい調整なし］／［肌色　黄＋ 1］／［肌色　黄＋ 2］から選べます。

◆加工

［加工　なし］........ 加工して印刷しません。

［加工　セピア］.... 写真をセピア色の濃淡だけで印刷します。

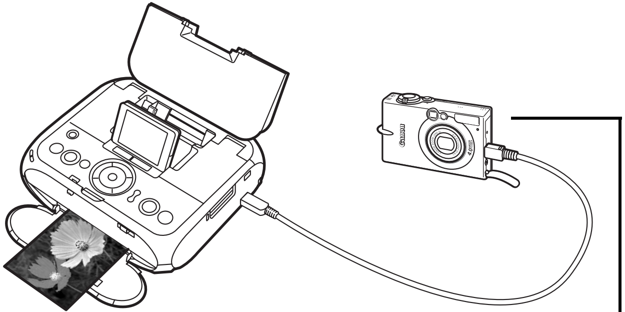
［加工　イラストタッチ］..... 写真をイラスト風に印刷します。

参考

各機能については、巻末の印刷サンプルを参照してください。

PictBridge 対応機器から印刷する

PictBridge 対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などをご使用のときは、本プリンタとPictBridge 対応機器を各社推奨の USB ケーブルで接続して、直接写真を印刷することができます。



このマークが表記されているカメラは、PictBridge に対応しています。

参考 本プリンタに接続できるカメラについて

- PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像をパソコンを介さずに直接プリンタで印刷するための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本プリンタと接続して画像を印刷することができます。
- カメラや携帯電話の液晶モニターなどで、印刷する画像の指定や、さまざまな印刷の設定を行うことが可能です。
- PictBridge 対応機器に表示されるアラームメッセージについては、「デジタルカメラからうまく印刷できない」（P.91）を参照してください。

※以降、PictBridge に対応しているデジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などを総称して、PictBridge 対応機器と呼びます。

※PictBridge に関する最新の情報は、キヤノンホームページでご確認いただけます。
canon.jp/pictbridge にアクセスしてください。

PictBridge 対応機器を接続する

本プリンタに PictBridge 対応機器を接続するときは、各社推奨の USB ケーブルを使用します。

警告 プリンタのカメラ接続部には、PictBridge 対応機器および Bluetooth ユニット BU-20（オプション）以外は、接続しないでください。火災や感電、プリンタの損傷の原因となる場合があります。

参考

PictBridge 対応機器を接続して印刷する場合、PictBridge 対応機器の電源は、家庭用電源をご使用になることをお勧めします。バッテリをご使用になるときは、フル充電されたバッテリをご使用ください。

1 プリンタの準備をする

プリンタに付属の『かんたんスタートガイド』の操作にしたがって、プリンタを印刷できるように準備してください。

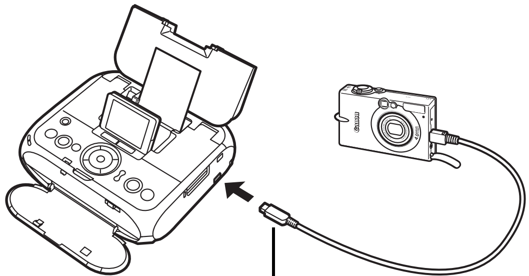
2 プリンタの電源を入れ、用紙をセットする→ P.17

3 プリンタと PictBridge 対応機器を接続する

参考

PictBridge 対応機器から印刷する場合、ご使用の機種により、接続する前に PictBridge 対応機器で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。
PictBridge 対応機器に付属の取扱説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。

1. PictBridge 対応機器の電源が切れていることを確認します。



2. 各社推奨の USB ケーブルで、PictBridge 対応機器とプリンタを接続します。
自動的に電源が入ります。電源が入らない機種をご使用の場合は、手動で電源を入れてください。

❸ PictBridge 対応機器から印刷できる状態にします。

カメラとプリンタとの接続が確認されると、PictBridge 対応機器の液晶モニターに が表示されます。

参考

 が表示されない場合は、「困ったときには」の「デジタルカメラからうまく印刷できない」（P.91）を参照してください。

PictBridge 対応機器から印刷する

操作については、必ず PictBridge 対応機器に付属の取扱説明書にしたがってください。ここでは、本プリンタを使用したときにPictBridge対応機器で設定できる用紙サイズ（ペーパーサイズ）や用紙タイプ（ペーパータイプ）、レイアウト、イメージオプティマイズ、日付／画像番号（ファイル番号）印刷について説明します。

カメラ側で PictBridge の印刷設定を確認／変更するには

使用する用紙サイズ（ペーパーサイズ）や用紙タイプ（ペーパータイプ）などを変更するときは、PictBridge 対応機器側の操作で PictBridge の印刷設定を開始し、設定内容を確認／変更してください。

◆説明している項目について

PictBridge 対応機器によっては、説明している項目が設定できない場合があります。設定できない項目については、プリンタの設定にしたがって印刷されます。

※説明に使用している名称は、キヤノン製 PictBridge 対応機器を使用したときに表示される名称を例に説明しています。ご使用の機器により設定項目の名称は異なる場合があります。

下記の設定項目は、PictBridge 対応機器を接続しているときにプリンタ側の［PictBridge 設定］で変更することができます。ただし、［PictBridge 設定］で変更できるのは、機器側で下記の項目を「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）にした場合のみです。

⇒「プリンタ側で PictBridge の印刷設定を確認／変更するには」（P.45）

PictBridge 対応機器側の項目	プリンタ側の用紙／設定画面
用紙サイズ（ペーパータイプ）：標準設定	PictBridge 設定画面の ❶❷❹ で変更可能 ⇒「各設定項目について」（P.46）
用紙タイプ（ペーパータイプ）：標準設定	
レイアウト：標準設定	
イメージオプティマイズ（画像補正）：標準設定	PictBridge 設定画面 ❺ ～ ⓭ で変更可能 ⇒「各設定項目について」（P.46）

印刷できる画像データについて

本プリンタで印刷できる画像データは、DCF 規格のデジタルカメラで撮影した画像データ *、または PNG データです。

* Exif2.21 に対応しています。

「用紙サイズ」（「ペーパーサイズ」）／「用紙タイプ」（「ペーパータイプ」）について

「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）を選んだときには、プリンタ側の PictBridge 設定画面で設定している「用紙サイズ」「用紙の種類」で印刷されます。
「用紙サイズ」（または「ペーパーサイズ」）と「用紙タイプ」（または「ペーパータイプ」）の設定で、プリンタにセットできるのは以下の用紙です。

「用紙サイズ」（「ペーパーサイズ」）の設定	「用紙タイプ」（「ペーパータイプ」）の設定	プリンタにセットする用紙
L 判 （標準設定）	フォト （標準設定）	スーパーフォトペーパー SP-101 L
		キヤノン写真用紙・絹目調 SG-201L
		エコノミーフォトペーパー EC-101L
		エコノミーフォトペーパー EC-201L
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 L
はがき	フォト	フォト光沢ハガキ KH-201N
		ピクサス プチシール PS-101*
		ピクサス プチシール・フリーカット PS-201*
		フォトシールセット PSHRS*
	高級フォト	プロフェッショナルフォトはがき PH-101
カード	フォト	エコノミーフォトペーパー EC-101 カード
ワイド	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 ワイド

* キヤノン純正のシール紙です。シール紙に印刷する場合は「用紙サイズ」（または［ペーパーサイズ］）は［はがき］に設定します。

「レイアウト」／「トリミング」について

「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）を選んだときには、プリンタ側の PictBridge 設定画面で設定している［フチなし］／［フチあり］にしたがって印刷されます。
「トリミング」は PictBridge 対応機器側の設定にしたがいます。

◆シール紙に印刷する場合

ピクサス プチシール PS-101（16 面）、ピクサスプチシール・フリーカット PS-201、フォトシールセット PSHRS（2 面、4 面、9 面、16 面）に印刷するときは、以下のように設定してください。

①「用紙サイズ（ペーパーサイズ）：はがき」「用紙タイプ（ペーパータイプ）：フォト」に設定します。
②「レイアウト」から「複数画像」を選び、印刷するシール紙の面数に合わせて「2」（2 面）、「4」（4 面）、「9」（9 面）、「16」（16 面）を設定します。

参考

- ご使用の PictBridge 対応機器により、「レイアウト」で「2 面配置」「4 面配置」「9 面配置」「16 面配置」と表示される場合があります。印刷するシール紙の面数に合わせて設定してください。
- PictBridge 対応機器側で「2 面」「4 面」「9 面」「16 面」に該当する項目がない場合は、キヤノン純正シール紙に印刷することはできません。

● シール紙に印刷するときは、「レイアウト」で「フチなし」を設定しないでください。

「イメージオプティマイズ」について

「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）を選んだときには、プリンタ側の PictBridge 設定画面の設定にしたがって印刷されます。各設定については、「プリンタの設定を変更する」（P.76）を参照してください。

また、キヤノン製 PictBridge 対応機器をご使用の場合は、「VIVID」「NR」「顔明るく」「赤目補正」が設定できます（機種により設定できない場合があります）。

● 「VIVID」は、緑や青色をより鮮やかに印刷します。
● 「NR」は、ノイズリダクションの略で、空などの青い部分や暗い部分のノイズを除去します。
● 「顔明るく」は、逆光画像を補正して印刷します。
● 「赤目補正」は、人物の目が赤く写った写真を補正して印刷します。

「日付／画像番号（ファイル番号）印刷」について

本プリンタでは変更できません。PictBridge 対応機器側の設定にしたがいます。

※PictBridge 対応機器側で、撮影するときに日付を写し込む機能が設定されているときには、「切」に設定してください。「日付」、「画像番号」（または「ファイル」）、「両方」に設定すると、日付や画像番号（ファイル番号）と重なって印刷されます。

参考

● PictBridge対応機器側で接続ケーブルを抜くことが許可された場合を除いて、印刷が終了するまでは接続ケーブルを絶対に抜かないでください。接続ケーブルを取り外すときは、PictBridge 対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。
● PictBridge 対応機器の操作で、以下の機能は使用できません。
  - 印刷品質の設定
  - メンテナンス機能

プリンタ側で PictBridge の印刷設定を確認／変更するには

プリンタ側で用紙の種類やサイズなど PictBridge 標準の印刷設定を変更する操作について説明します。

PictBridge 設定画面の表示と設定の操作について

1 **プリンタの電源を入れる→ P.15**

2 **PictBridge 設定画面を表示する**

❶ 設定画面を表示します。→ P.11

❷ ［各設定］を選び、OKボタンを押します。

❸ ［PictBridge 設定］を選び、OKボタンを押します。

PictBridge 設定画面が表示されます。

3 設定を確認／変更する

❶ 設定する項目を選び、(OK)ボタンを押します。

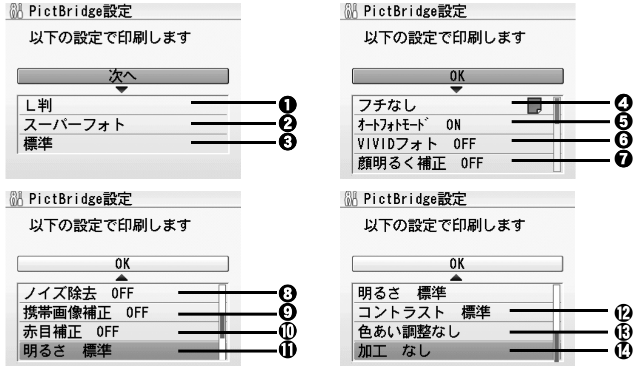
❷ 選択項目を選び、(OK)ボタンを押します。

❸ 印刷設定を確認し、［次へ］を選んで、(OK)ボタンを押します。

❹ 手順①、② を繰り返し、各項目を設定します。

❺ 必要な項目を設定後、［OK］を選んで、(OK)ボタンを押します。
設定した内容で、PictBridge 対応機器から印刷できます。

各設定項目について



❶ PictBridge 対応機器から印刷するときの用紙サイズを設定できます。

❷ PictBridge 対応機器から印刷するときの用紙の種類を設定できます。

❸ PictBridge 対応機器から印刷するときの印刷品質を設定できます。

❹ フチのあり／なしを設定できます。

❺ ［オートフォトモード ON］を選ぶと、写真の色あいや明るさの自動補正が有効になります。

❻ ［VIVID フォト ON］を選ぶと、VIVID フォト機能（緑や青色をより鮮やかに印刷）が有効になります。

❼ ［顔明るく補正　ON］を選ぶと、逆光などで暗くなった人物の顔を明るく印刷できます。

❽ ［ノイズ除去 ON］を選ぶと、空などの青い部分や、暗い部分のノイズを軽減できます。

❾ ［携帯画像補正 ON］を選ぶと、輪郭のギザギザをなめらかにして印刷できます。

❿ ［赤目補正 ON］を選ぶと、人物の目が赤く写った写真を補正して印刷できます。

⓫ 明るさを調整します。

⓬ コントラストを調整できます。

⓭ 肌の色あいを調整できます。
例えば、肌の色味の赤を強くしたり、黄色を強くすることができます。

⓮ 写真をセピアの濃淡やイラスト風に加工して印刷できます。

ワイヤレス通信対応機器から印刷する

本プリンタは、携帯電話から赤外線通信を利用してワイヤレスで手軽に写真を印刷することができます。またオプションのBluetooth ユニット BU-20 を使用すると、Bluetooth 通信機能がある携帯電話からワイヤレスで印刷することができます。

重要

携帯電話から赤外線通信で正しく印刷を行うためには、以下の条件を満たしている必要があります。

・ 対応機種：IrDA ポートを搭載し、赤外線通信による画像データ転送に対応した携帯電話
  ※動作確認済みの携帯電話については、キヤノンサポートホームページ canon.jp/support でご確認ください。
・ 印刷可能なデータ：携帯電話のカメラで撮影した画像

赤外線通信で印刷するときは

- 印刷する用紙やレイアウトを設定する→下記参照
- 赤外線通信で印刷する→ P.50

Bluetooth 通信で印刷するときは

- 印刷する用紙やレイアウトを設定する→下記参照
- Bluetooth 通信で印刷する→ P.51

印刷する用紙やレイアウトを設定する

赤外線通信や Bluetooth 通信を利用して携帯電話から写真を印刷するときは、［ワイヤレス印刷設定］で用紙サイズや用紙の種類、レイアウトなどを設定します。

- お買い上げ時から何も設定を変更していない場合は、スーパーフォトペーパー SP-101L に、フチなしで印刷する設定になっています。

ワイヤレス印刷設定画面の表示と設定の操作について

1 プリンタの電源を入れる→ P.15

2 ワイヤレス印刷設定画面を表示する

❶ 設定画面を表示します。→ P.11

❷ ［各設定］を選び、OKボタンを押します。

❸ ［ワイヤレス印刷設定］を選び、OKボタンを押します。

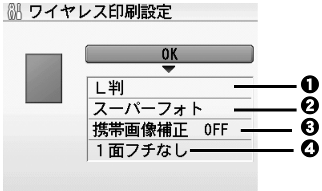
ワイヤレス印刷設定画面が表示されます。

3 設定を確認／変更する

❶ 設定を変更する場合は、設定項目を選び、OKボタンを押します。
各設定画面で設定を選び、OKボタンを押します。

❷ 設定の確認／変更が終わったら、［OK］を選んでOKボタンを押します。

各設定項目について



❶ 携帯電話の写真を印刷するときの用紙サイズを設定できます。

❷ 携帯電話の写真を印刷するときの用紙の種類を設定できます。

参考

携帯電話の写真を印刷するときの用紙サイズと用紙の種類については「使用できる用紙の種類」（P.19）を参照してください。

❸ ［携帯画像補正 ON］を選ぶと、輪郭のギザギザをなめらかに補正して印刷できます。

❹ 携帯電話の写真を印刷するとき、用紙に合わせてレイアウトを設定できます。

- シール紙に印刷
  16 面シール、9 面シール、4 面シール、2 面シール、フリーカット 1、フリーカット 2、フリーカット 3、フリーカット 4
- シール紙以外に印刷
  フチあり：1/2/4/8 面
  フチなし：1/2/4/8 面

参考 **シール紙に印刷するには**

キヤノン純正のシール紙で印刷するときは、以下のように設定してください。

用紙の名称	用紙サイズ	用紙の種類	レイアウト
ピクサス プチシール PS-101	シール紙	スーパーフォト	16 面シール
ピクサス プチシール・フリーカット PS-201	シール紙	スーパーフォト	フリーカット 1、フリーカット 2、フリーカット 3、フリーカット 4

用紙の名称	用紙サイズ	用紙の種類	レイアウト
フォトシールセット PSHRS	シール紙	スーパーフォト	印刷するシールに合わせて 2面シール／4面シール／9面シール／16面シール

赤外線通信で印刷する

携帯電話の写真を赤外線通信で印刷できます。
赤外線通信で印刷を行うときは、ご使用の携帯電話に付属の取扱説明書もあわせて参照してください。

1 印刷の準備をする

❶ プリンタの電源を入れます。→ P.15

❷ 用紙をセットします。→ P.17

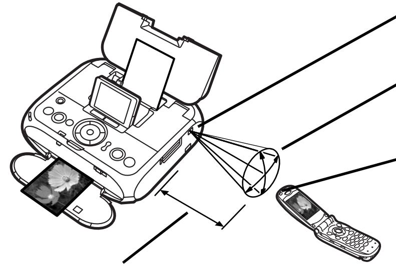
2 印刷する用紙やレイアウトを設定する→ P.48

3 赤外線通信を開始する

❶ 携帯電話の赤外線通信ポートを、プリンタの赤外線通信ポートと20cm以内の距離で正面に向き合うように置きます。

参考

プリンタの赤外線通信ポートの有効角度は、左右、上下共に中心軸に対して約 10 度です。ただし、通信相手となる携帯電話によっては、プリンタとの通信可能な距離が異なります。携帯電話に付属の取扱説明書で確認してください。



❷ 印刷したい写真を選び、携帯電話の赤外線ファイル転送機能で、データをプリンタに送信します。

データの送信が終了すると、印刷が開始されます。

参考

- 携帯電話から印刷する操作については、携帯電話に付属の取扱説明書を参照してください。
- プリンタの赤外線通信ポートと携帯電話の赤外線通信ポートの間に物などを置いて遮断しないでください。送受信ができなくなります。

- データを受信中は、プリンタと赤外線通信の接続を切らないように注意してください。もし切れてしまった場合は、もう一度携帯電話からデータを送信してください。
- ご使用の機種により、赤外線による転送容量に制限があるため、最高画質での印刷ができないことがあります。
- 印刷して画像が粗くなるときは、名刺サイズやカードサイズ、シール紙などの小さいサイズの用紙で印刷することをお勧めします。

送信できるデータについて

- 携帯電話のセキュリティ設定のため、ダウンロードしたコンテンツや、メールに添付されたURLからダウンロードした写真等は印刷できません。
- 動画は印刷できません。
- 画像の大きさによって送信を開始してから印刷が開始されるまで時間がかかることがあります。
- ご使用の機種により、メモリーカードに保存したデータは印刷できないことがあります。
- 印刷される画像の品質と印刷される向き（縦または横）は、撮影した画像サイズによって自動的に設定されます。
- 携帯電話で撮影した画像のサイズによっては、フチなしで印刷すると左右と上下の画像が切れたり、フチありで印刷すると左右上下の余白の大きさが変わることがあります。
- 1.8MB以上の画像サイズは、送信できない場合があります。

Bluetooth 通信で印刷する

ここではオプションのBluetoothユニットBU-20を使って、携帯電話から写真を印刷する操作手順について説明します。

参考

Bluetooth通信ではパソコンからの印刷はできません。
OPP(Object Push Profile)またはBIP(Basic Imaging Profile)のプロファイルに対応している携帯電話から印刷できます。
ご使用の携帯電話が対応しているプロファイルについては、ご使用の携帯電話に付属の取扱説明書を参照してください。

Bluetooth 通信で印刷する

携帯電話から Bluetooth 通信で印刷を行うときは、ご使用の携帯電話に付属の取扱説明書もあわせて参照してください。

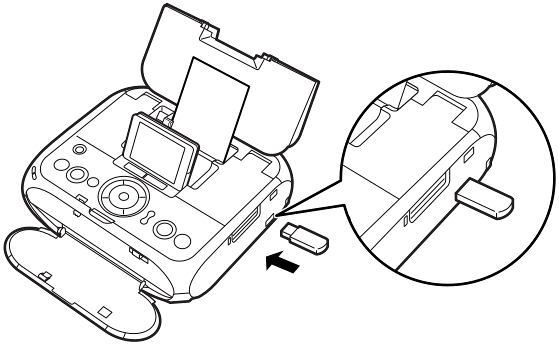
1 印刷の準備をする

❶ プリンタの電源を入れます。→ P.15

❷ 用紙をセットします。→ P.17

2 Bluetooth ユニットを取り付ける

プリンタのカメラ接続部にBluetoothユニットを差し込みます。



3 印刷する用紙やレイアウトを設定する→ P.48

4 携帯電話から印刷を開始する

- 機種名を選ぶ場合は、本プリンタの初期設定「Canon mini260-1」を選んでください。
- パスキーの入力を求められた場合は、初期設定「0000」を入力してください。
  機種名やパスキーなどの設定は、プリンタの Bluetooth 設定画面で変更できます。→ P.52

参考

- 通信距離は約 10m ですが、以下の状況によって変化する場合があります。また、以下の状況により、印刷速度が変化する場合があります。
  - ・ 通信機器間の障害物や電波状況
  - ・ 磁場、静電気、電波障害の発生する場所
  - ・ 通信する機器の受信感度、アンテナ性能
- 送信できるデータについては「送信できるデータについて」（P.51）を参照してください。

Bluetooth 通信の設定を変更するー Bluetooth 設定

機種名やパスキーなどの Bluetooth 通信の設定を変更できます。

1 プリンタの電源を入れる→ P.15

2 Bluetooth ユニットを取り付ける

参考

Bluetooth ユニットを取り付けないと、メニュー画面に［Bluetooth 設定］は表示されません。

3 Bluetooth 設定画面を表示する

❶ 設定画面を表示します。→ P.11

❷ ［各設定］を選び、OKボタンを押します。

❸ [Bluetooth 設定] を選び、OKボタンを押します。

Bluetooth 設定画面が表示されます。

4 設定を確認／変更する

❶ 設定項目を選び、OKボタンを押します。

❷ 必要な項目を設定したあと、OKボタンを押します。→ P.53

各設定項目について

◆[機種名選択]

携帯電話に表示される本プリンタの機種名を設定できます。
ここで［mini260-2］に設定すると、携帯電話に表示される機種名が［Canon mini260-2］となります。
初期設定は［mini260-1］です。

◆[アクセス拒否設定]

［する］に設定すると、携帯電話から本プリンタを検索できなくなります。

◆[セキュリティ設定]

［有効］に設定すると、［パスキー変更］で設定したパスキーが有効になります。パスキーが有効になることで、ほかの Bluetooth 対応機器からの不正な使用を防ぐことができます。

◆[パスキー変更]

パスキーを変更できます。パスキーとは、ほかの Bluetooth 対応機器からの不正な使用を防ぐために設定する暗証番号です。
初期設定は［0000］です。
パスキーを変更すると、今まで印刷できていた携帯電話でパスキーの入力が求められる場合があります。その場合は、変更したパスキーを入力してください。

パソコンと接続して印刷する

パソコンにプリンタドライバをインストールすることで、パソコンと接続して印刷することができます。

参考

- プリンタをパソコンと接続するには、USB ケーブル（別売品）が必要です。
- ここでは、プリンタドライバのインストール、電子マニュアルの見かたについて説明します。プリンタドライバの開きかたやパソコンからの印刷方法については、『プリンタガイド（電子マニュアル）』をご覧ください。

プリンタドライバをインストールする

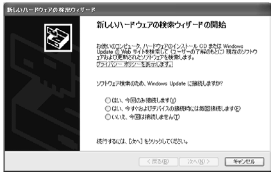
プリンタを印刷できる状態にするには、「プリンタドライバ」と呼ばれるソフトウェアをパソコンのハードディスクにコピーする（インストールする）ことが必要です。

Windows をご使用の場合

参考

- Windows® XP または Windows 2000 が動作するパソコンをご使用ください。
- 本書では、Windows XP をご使用の場合に表示される画面を基本に説明します。
- ウィルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがある場合は、あらかじめ終了しておいてください。
- Windows XP にインストールする場合は、［コンピュータの管理者］の権限をもつユーザ名でログオンする必要があります。
- Windows 2000 にインストールする場合は、Administrators のグループとしてログオンする必要があります。
- インストール処理中はユーザの切り替えを行わないでください。

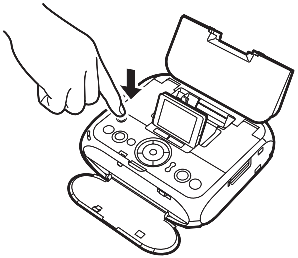
もし次のような画面が自動的に表示されたら……



①［キャンセル］をクリックする
②プリンタの電源を切る
③パソコン側の USB ケーブルを抜く
④プリンタ側のUSBケーブルを抜く
⑤以下の手順 2 から操作する

1 プリンタを準備する

❶『かんたんスタートガイド』の操作にしたがって、プリンタを使えるように準備します。



❷ プリンタの電源を切ります。

プリンタが動作中のときは終わるまで待って、電源を切ってください。

電源が切れるまで約20秒ほど動作音が続きます。

2 インストールの基本画面を表示する

❶ パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。

❷『セットアップ CD-ROM』を CD-ROM ドライブにセットします。

プログラムが自動的に起動し、インストールの基本画面が表示されます。

3 インストールを開始する



❶［おまかせインストール］をクリックします。



❷［インストール］をクリックします。

参考

- プリンタドライバのインストールには、［おまかせインストール］と［選んでインストール］の２種類があります。
  ［おまかせインストール］を選ぶと、プリンタドライバ、電子マニュアル、アプリケーションが自動的にインストールされます。
- Adobe RGB®（1998）をインストールするには、［選んでインストール］を選んでください。
- 一覧表のソフトウェア上にマウスカーソルを置くと、プリンタドライバやアプリケーションの説明が表示されます。
- インストールが始まる前に、自動的にハードディスクの空き容量がチェックされます。容量が足りない場合は、使用しないファイルやアプリケーションを消去して、ハードディスクの容量を増やしてください。

❸［使用許諾契約］の画面が表示されたら、内容をよく読んで［はい］をクリックします。

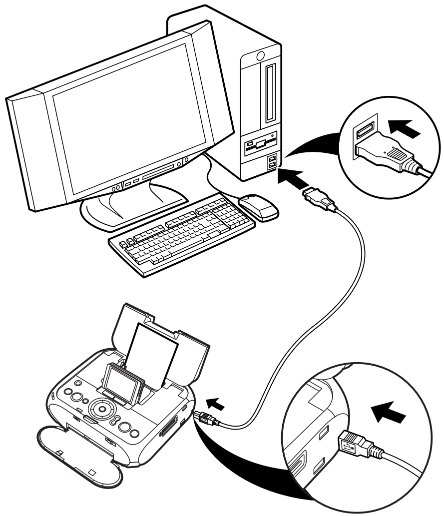
このあとに、プリンタドライバや電子マニュアル、アプリケーションのインストールが始まります。画面の指示にしたがってください。

再起動を促す画面が表示されたら、[OK] をクリックしてパソコンを再起動します。



❹ [プリンタの接続] 画面が表示されたら、パソコンに USB ケーブルを接続します。

❺ プリンタの電源が切れていることを確認し、パソコンとプリンタに USB ケーブルを接続します。



❻ プリンタの電源を入れます。

インストールが続行されます。

参考

3 分間経っても次の手順に進めないときは、[プリンタドライバがインストールできない]（P.84）を参照してください。

4 インストール操作を終了する



❶ [セットアップの終了] の画面が表示されたら、インストールは完了しています。

続けて CANON iMAGE GATEWAY の登録を行う場合は、[登録] をクリックします。

参考

あとで登録を行う場合は、[次へ] をクリックして③に進みます。デスクトップ上のアイコン（）をダブルクリックすると登録が行えます。

パソコンを再起動させる画面が表示されることがあります。画面の指示にしたがって［OK］をクリックしてください。

インターネットに接続できる環境になっている場合、インターネットへの接続が開始され、CANON iMAGE GATEWAY の会員登録ページが表示されます。表示される画面にしたがって会員登録や本製品の情報を登録してください。

❷ [セットアップの終了]の画面に戻って、[次へ]をクリックします。



❸ [インストールが完了しました]の画面が表示されたら、[終了]をクリックします。

再起動を促す画面が表示されたら、[再起動]をクリックしてパソコンを再起動します。

これで、プリンタがパソコンで使用できるようになりました。

Macintosh をご使用の場合

参考

- Mac® OS X v.10.2.8 以上をご使用ください。
- 本書では、Mac OS X v.10.4.x をご使用の場合に表示される画面を基本に説明します。
- インストール中は USB ケーブルの抜き差しをしないでください。パソコンやプリンタが正常に動作しなくなることがあります。
- ウィルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがある場合は、あらかじめ終了しておいてください。

1 プリンタとパソコンをUSBケーブルで接続する

2 インストーラを起動する

❶ パソコンの電源を入れ、Mac OS X を起動します。

❷ プリンタの電源を入れます。

❸ 『セットアップ CD-ROM』を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM のフォルダが自動的に開かない場合は、デスクトップに表示される Setup をダブルクリックします。



❹ Setupアイコンをダブルクリックします。



❺ この画面が表示されたら、管理者の名前とパスワードを入力し、[OK］をクリックします。

管理者の名前とパスワードがわからないときは、?ボタンをクリックしてください。

3 プリンタドライバをインストールする



❶ この画面が表示されたら[おまかせインストール］をクリックします。

プリンタドライバのインストールには、[おまかせインストール］と［選んでインストール］の２種類があります。［おまかせインストール］を選ぶと、プリンタドライバ、電子マニュアル、アプリケーションが自動的にインストールされます。

❷ ［おまかせインストール］の画面が表示されたら、［インストール］をクリックします。

参考

- 一覧表のソフトウェア上にマウスカーソルを置くと、プリンタドライバやアプリケーションの説明が表示されます。
- インストールが始まる前に、自動的にハードディスクの空き容量がチェックされます。容量が足りない場合は、使用しないファイルやアプリケーションを消去して、ハードディスクの容量を増やしてください。

❸ 使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容をよく読んで［はい］をクリックします。

このあとに、プリンタドライバや電子マニュアル、アプリケーションのインストールが始まります。画面の指示にしたがってください。



❹ ［ソフトウェアのインストール完了］の画面が表示されたら、インストールは完了しています。
続けて CANON iMAGE GATEWAY の登録を行う場合は、［登録］をクリックします。

参考

あとで登録を行う場合は、[次へ] をクリックして⑥に進みます。デスクトップ上のアイコン（ ）をダブルクリックすると登録が行えます。

インターネットに接続できる環境になっている場合、インターネットへの接続が開始され、CANON iMAGE GATEWAY の会員登録ページが表示されます。表示される画面にしたがって会員登録や本製品の情報を登録してください。

❺ [ソフトウェアのインストール完了] の画面に戻って、[次へ] をクリックします。



❻ [インストールが完了しました] の画面が表示されたら [再起動] をクリックします。

パソコンの再起動後、[移動] メニューから [アプリケーション] を選び、[ユーティリティ] フォルダ、[プリンタ設定ユーティリティ] アイコン（Mac OS X v.10.2.8 をご使用の場合は、[ユーティリティ] フォルダ、[プリントセンター]）を順にダブルクリックし、[プリンタリスト] に [mini260] が表示されていることを確認してください。プリンタ名が表示されていない場合には、[追加] ボタンをクリックしてプリンタを追加してください。
詳しい操作方法は、プリンタ設定ユーティリティのヘルプまたは Mac ヘルプを参照してください。

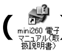
電子マニュアルを読もう

電子マニュアルは、パソコンから印刷するときに必要となる情報を説明したパソコンで見る取扱説明書です。パソコンから印刷する方法、プリンタドライバの設定のしかた、『セットアップ CD-ROM』に付属しているアプリケーションの使いかたなどについて知りたいときにお読みください。
電子マニュアルをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップ CD-ROM』を使って、以下のようにインストールします。

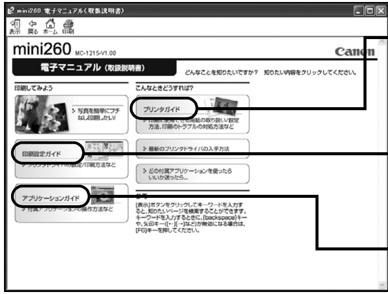
・［おまかせインストール］を選んで、プリンタドライバ、アプリケーションとともにインストール
・［選んでインストール］から［電子マニュアル（取扱説明書）］を選んでインストール

電子マニュアルを表示する

電子マニュアルをパソコンの画面に表示する方法について説明します。

1 デスクトップ上のアイコン（）をダブルクリックする

電子マニュアルの一覧が表示されます。



参考

Windows

● ［スタート］メニューから表示するときは、Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）、［Canon mini260 マニュアル］－［mini260 電子マニュアル（取扱説明書）］の順に選びます。
● キーワードを入力して、目的のページを探すことができます。操作方法については『プリンタガイド（電子マニュアル）』をご覧ください。

Macintosh

● Finder のメニューバーの［ヘルプ］メニューから［Mac ヘルプ］を選んで Mac ヘルプを開くと、［ライブラリ］メニューからインストールされた電子マニュアルを選択して起動させることができます。
● キーワードを入力して、目的のページを探すことができます。操作方法については『プリンタガイド（電子マニュアル）』をご覧ください。

印刷にかすれやむらがあるときは

印刷結果がかすれたり、色が正しく印刷されないときには、インクがなくなっているか、プリントヘッドのノズルが目づまりしている可能性があります。以下の手順でお手入れを行ってください。

参考

お手入れを行う前に

- 本体カバーを開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください。

  ランプがゆっくり点滅している場合
  インクが少なくなっています。印刷にかすれがあるときは、インクタンクを交換してください。→ P.66
  かすれがなければ印刷を続行することはできますが、途中で正しく印刷されなくなる可能性があります。交換用インクタンクのご用意をお勧めします。

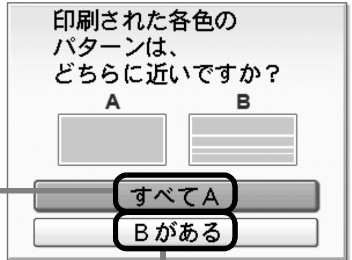
  ランプがはやく点滅している場合
  インクがなくなりました。インクタンクを交換してください。→ P.66

  ランプが消えている場合
  インクが正しくセットされていません。インクタンクの PUSH の部分を「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクをセットしてください。

- 印刷された写真で、ざらついているなど印刷の結果が思わしくないときは、プリントヘッドの位置調整を行うと状態が改善することがあります。→ P.65

Step 1
ノズルチェックパターンの印刷 → P.62

クリーニング後ノズルチェックパターンを印刷して確認



問題がない場合は操作を終了する

パターンが欠けている場合

Step 2
プリントヘッドのクリーニング → P.63

2 回繰り返しても改善されない場合

Step 3
プリントヘッドの強力クリーニング → P.64

Step 3 までの操作を行っても症状が改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。→ P.102

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。

1 プリンタの準備をする

❶ プリンタの電源を入れます。→ P.15

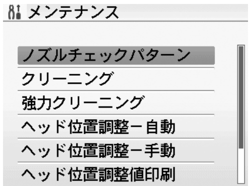
❷ 付属の用紙またはキヤノン純正のＬ判の用紙（→ P.19）をセットします。

2 ノズルチェックパターンを印刷する

❶［設定］を選び、OKボタンを押します。→ P.11

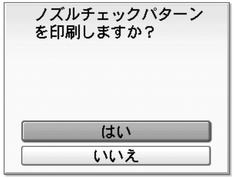
設定画面が表示されます。

❷［メンテナンス］を選び、OKボタンを押します。



❸［ノズルチェックパターン］を選び、OKボタンを押します。

ノズルチェックパターン印刷の確認画面が表示されます。

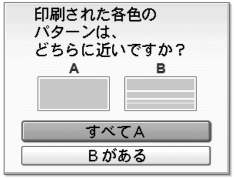


❹［はい］を選び、OKボタンを押します。

ノズルチェックパターンが印刷され、パターンの確認画面が表示されます。

→巻末「インクが出ない・かすれるときは？」

3 ノズルチェックパターンを確認する



● **4色のパターンがすべて正常に印刷されているとき**



白いすじがない場合

［すべて A］を選び OKボタンを押します。

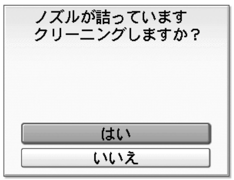
● **4色のパターンに1つでも白いすじがあるとき**

白いすじがある場合

［B がある］を選び OKボタンを押します。

クリーニングの確認画面が表示されます。

［はい］を選び、クリーニングを行ってください。→ P.63



プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンを印刷して、パターンに欠けや白いすじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。プリントヘッドをクリーニングすると、使用したインクがインク吸収体に吸収されます。インクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

1 プリンタの準備をする

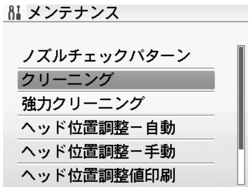
プリンタの電源を入れます。→ P.15

2 プリントヘッドをクリーニングする

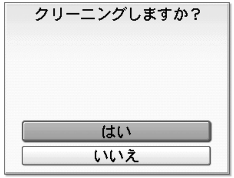
❶ ［設定］を選び、OKボタンを押します。→ P.11

設定画面が表示されます。

❷ ［メンテナンス］を選び、OKボタンを押します。



❸ ［クリーニング］を選び、OKボタンを押します。



❹ ［はい］を選び、OKボタンを押します。

クリーニングが開始されます。

クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 60 秒かかります。

3 プリントヘッドの状態を確認する

クリーニングが終了すると、ノズルチェックパターンの確認画面が表示されます。

ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認してください。→ P.62

参考

クリーニングとノズルチェックパターン印刷の操作を 2 回まで繰り返しても改善されないときには、強力クリーニングを行います。

プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングを行うと、使用したインクがインク吸収体に吸収されます。強力クリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

1 プリンタの準備をする

プリンタの電源を入れます。→ P.15

2 プリントヘッドを強力クリーニングする

❶ [設定] を選び、OKボタンを押します。→ P.11

設定画面が表示されます。

❷ [メンテナンス] を選び、OKボタンを押します。

❸ [強力クリーニング] を選び、OKボタンを押します。

❹ [はい] を選び、OKボタンを押します。

強力クリーニングが開始されます。

強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 90 秒かかります。

3 プリントヘッドの状態を確認する

強力クリーニングが終了すると、ノズルチェックパターンの確認画面が表示されます。

ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認してください。

参考

強力クリーニングを行っても改善されないときには、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。→ P.102

プリントヘッド位置を調整する

印刷された写真で、ざらついているなど印刷の結果が思わしくないときは、プリントヘッドの位置調整を行うと状態が改善されることがあります。

1 プリンタの準備をする

❶ プリンタの電源を入れます。→ P.15

❷ 付属の用紙またはキヤノン純正の L 判の用紙を 2 枚セットします。

参考

以下の用紙をご使用ください。

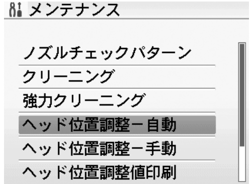
・マットフォトペーパー MP-101L
・スーパーフォトペーパー SP-101L

2 プリントヘッドの位置調整（自動）を行う

❶ ［設定］を選び、OKボタンを押します。→ P.11

設定画面が表示されます。

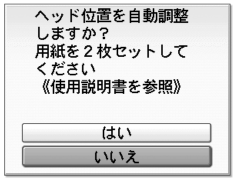
❷ ［メンテナンス］を選び、OKボタンを押します。



❸ ［ヘッド位置調整 - 自動］を選び、OKボタンを押します。

参考

［ヘッド位置調整値印刷］を選ぶと、現在の調整値を印刷できます。



❹ ［はい］を選び、OKボタンを押します。

プリントヘッド調整位置パターンが印刷され、プリントヘッド位置が自動的に調整されます。印刷が終了するまで約 2 分かかります。

参考

●パターンは黒と青で印刷されます。

自動調整が正しく行えなかったときには

自動調整が正しく行えなかったときには、液晶モニターに［自動ヘッド位置調整に失敗しました］のメッセージが表示されます。「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.79）を参照してください。

インクタンクを交換する

インクがなくなったときは、インクタンクを交換してください。
インクタンクの型番を間違えると正しく印刷できません。本プリンタでは、以下のインクタンクを使用しています。

インクタンク： 19 Color BCI-19 Color

インク残量を確認する

インク残量を確認する

インクランプの表示によって、インクタンクの状態を確認することができます。本体カバーを開けてインクランプを確認してください。

インクが残り少ない場合：インクランプがゆっくり点滅（約3 秒間隔）します。印刷にかすれがあるときは、インクタンクを交換してください。かすれがなければ印刷を続行することはできますが、途中で正しく印刷されなくなる可能性があります。交換用インクタンクのご用意をお勧めします。



インクがなくなった場合：インクランプがはやく点滅（約 1 秒間隔）します。新しいインクタンクに交換してください。

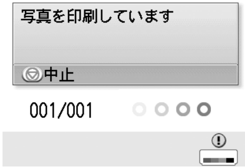


※ 液晶モニターにエラーメッセージが表示されている場合は、インクタンクにエラーが発生し、印刷できない状態です。「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.79）を参照してください。

インク残量を液晶モニターで確認することもできます。
ホーム画面でファンクションボタン（左／［インク残量］）を押すと、インク残量が表示されます。

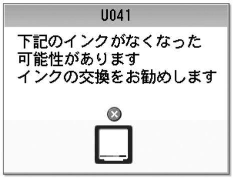
■交換が必要な場合

インクが残り少ない場合： が表示されます。
新しいインクタンクをご用意ください。
印刷にかすれがある場合は、印刷終了後にインクタンクを交換することをお勧めします。かすれがなければ印刷を続行することはできますが、途中で正しく印刷されなくなる可能性があります。



インクタンクの上に が表示されている場合

- インクがなくなった可能性があります。インクタンクを交換することをお勧めします。
- ストップ／リセットボタンを押すと、印刷を中止します。新しいインクタンクに交換してください。



- 印刷が終了していない場合は、インクタンクを取り付けたままプリンタの（OK）ボタンを押すと、印刷を続けることができます。印刷が終了したらインクタンクを交換することをお勧めします。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因となるおそれがあります。

空のインクタンクが強調表示されている場合

- インクがなくなりました。インクタンクを交換してください。このまま印刷を続けるとプリンタに損傷を与えるおそれがあります。



- 印刷を続けるには、インク残量検知機能を無効にする必要があります。プリンタのストップ／リセットボタンを 5 秒以上押してから離してください。

  ※ この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障についてはキヤノンは責任を負えない場合があります。

交換の操作

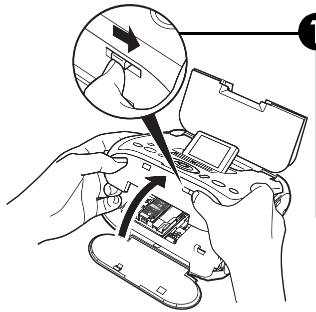
重要　インクの取り扱いについて

- 最適な印刷品質を保つため、キヤノン製の指定インクタンクのご使用をお勧めします。
  また、インクのみの詰め替えはお勧めできません。
- インクタンクの交換はすみやかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。
  また、インク変換時期を正しくお知らせできません。

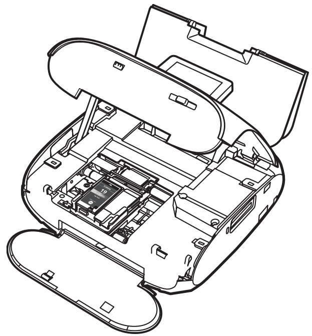
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「取付期限」までにプリンタに取り付けてください。また、開封後 6ヶ月以内に使い切るようにしてください（プリンタに取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。
- プリンタの性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニングでも、各色のインクが使われます。
  インクがなくなった場合は、すみやかに新しいインクタンクに交換してください。

1 プリンタの電源が入っていることを確認する

2 本体カバーを開ける



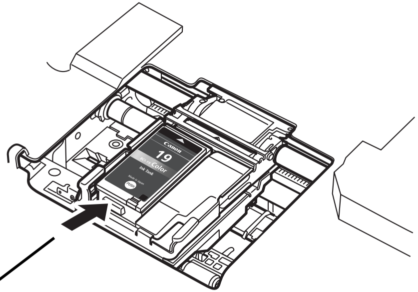
❶ ロックスイッチを右側にスライドさせ、本体カバーを開けます。
プリントヘッドが交換位置に移動します。



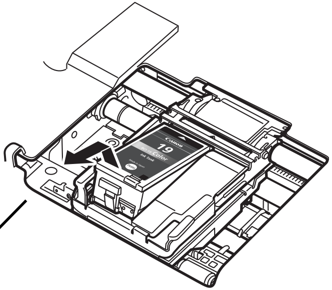
重要

本体カバーを 10 分間以上開けたままにすると、プリントヘッドが右側へ移動します。その場合は、本体カバーを閉じ、開け直してください。

3 インクタンクを取り外す



❶ タブを矢印の方向に押します。

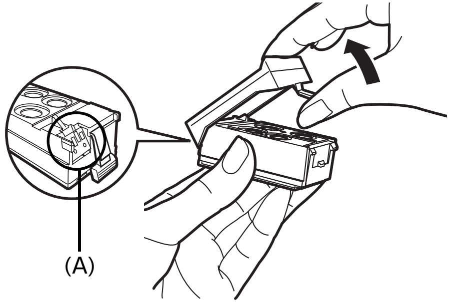


❷ インクタンクを取り出します。

参考

- 衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- 空になったインクタンクは地域の条例にしたがって処分してください。
  また、キヤノンでは使用済みインクタンクの回収を推進しています。詳しくは「使用済みインクカートリッジ回収のお願い」（P.103）を参照してください。

4 インクタンクを準備する

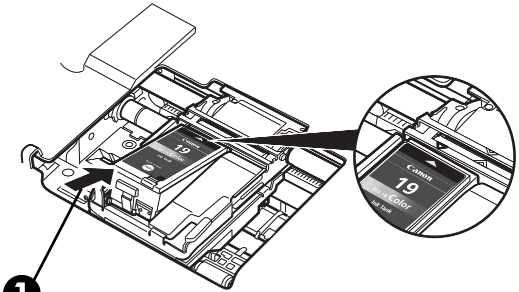


新しいインクタンクを袋から出し、オレンジ色の保護キャップを取り外します。
取り外した保護キャップはすぐに捨ててください。

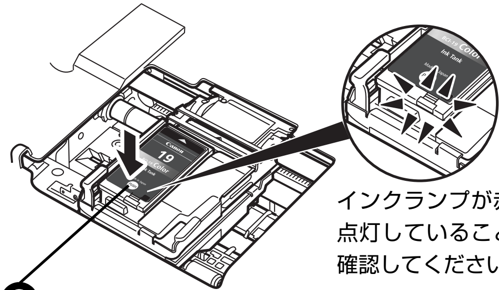
重要

- インクタンクの基板部分（A）には触れないでください。正常に動作／印刷できなくなるおそれがあります。
- 取り外した保護キャップは、再装着しないでください。
  地域の条例にしたがって処分してください。
- 保護キャップを取り外したあと、インク出口に手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。

5 インクタンクを取り付ける



❶ 新しいインクタンクを ▼ マークと ▲ マークが合うように、斜めに差し込みます。



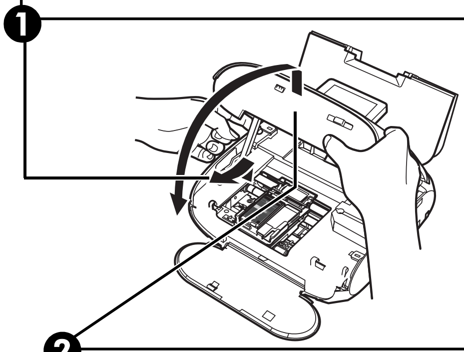
インクランプが赤く点灯していることを確認してください。

❷ インクタンクの (PUSH) 部分を押して、インクタンクを固定します。

「カチッ」という音がするまで、しっかり押してください。

6 本体カバーを閉める

本体カバーを持ち上げ、固定バーを手前に引きながら閉めます。



本体カバーを「カチッ」という音がするまで、しっかり閉めます。

きれいな印刷を保つために（プリントヘッドの乾燥・目づまり防止）

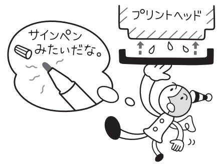
プリントヘッドの乾燥と目づまりを防ぐため、次のことに注意してください。

●電源を切るときのお願い

プリンタの電源を切るときには、必ず以下の手順にしたがってください。

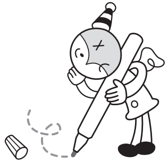
①プリンタの電源ボタンを押して電源を切る
②電源ランプが消えたことを確認する（数秒から、場合によって約 20 秒かかります）
③電源コードをコンセントから抜く、またはテーブルタップのスイッチを切る

電源ボタンを押して電源を切ると、プリントヘッド（インクのふき出し口）の乾燥を防ぐために、プリンタは自動的にプリントヘッドにキャップをします。このため、電源ランプが消える前にコンセントから電源コードを抜いたり、スイッチ付テーブルタップのスイッチを切ってしまうと、プリントヘッドのキャップが正しく行われず、プリントヘッドが、乾燥・目づまりを起こしてしまいます。



● **長期間ご使用にならないときは**

長期間ご使用にならない場合は、定期的に（月 1 回程度）印刷することをお勧めします。サインペンが長期間使用されないとキャップをしていても自然にペン先が乾いて書けなくなるのと同様に、プリントヘッドも長期間使用されないと乾燥して目づまりを起こす場合があります。



参考

- 印刷した部分を蛍光ペンや水性ペンでなぞったり、水や汗が付着した場合、インクがにじむことがあります。
- プリントヘッドが目づまりを起こすと、印刷がかすれたり特定の色が出なくなります。詳しくは「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.61）を参照してください。

清掃する

ここでは、清掃のしかたについて説明します。

⚠ 注意

- 清掃する前に、電源を切り、電源コードを抜いてください。
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオルは使わないでください。プリンタ内部に紙の粉や細かな糸くずなどが残り、プリントヘッドの目づまりや印刷不良などの原因になることがあります。部品を傷付けないように、必ず柔らかい布を使ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障の原因になります。

給紙ローラクリーニングを行う

用紙がうまく送られないときは、給紙ローラのクリーニングを行ってください。給紙ローラのクリーニングは給紙ローラを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

1 プリンタの準備をする

❶ プリンタの電源を入れます。→ P.15

❷ プリンタにセットされている用紙をすべて取り除きます。

2 キヤノン純正のＬ判の用紙を、印刷面を下にして３枚セットする

3 給紙ローラを清掃する

❶ ［設定］を選び、OKボタンを押します。→ P.11

設定画面が表示されます。

❷ ［メンテナンス］を選び、OKボタンを押します。

❸ ［給紙ローラクリーニング］を選び、OKボタンを押します。

❹ ［はい］を選び、OKボタンを押します。

セットしたすべての用紙が給紙され、排出されます。用紙を排出した後、プリンタが１～２分動作して停止します。改善されない場合は、同様の操作を数回繰り返してください。給紙ローラクリーニングは必要な場合にのみ行ってください。

インク拭き取りクリーニングを行う

プリンタ内部の汚れをとります。内部が汚れていると、印刷した用紙が汚れる場合がありますので、定期的に行うことをお勧めします。

1 プリンタの準備をする

❶ プリンタの電源を入れます。→ P.15

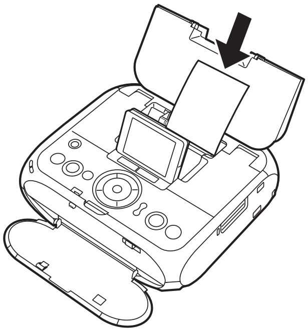
❷ プリンタにセットされている用紙をすべて取り除きます。

2 キヤノン純正のマットフォトペーパー（MP-101）、またはエコノミーフォトペーパー（EC-101/EC-201）L 判の用紙を 1 枚セットする

3 インク拭き取りクリーニングを行う

❶ 設定画面を表示します。→ P.11

❷ ［メンテナンス］を選び、OKボタンを押します。



❸ ［インクふき取り］を選び、OKボタンを押します。

❹ ［はい］を選び、OKボタンを押します。

セットした用紙が給紙され、数秒間クリーニング動作をした後に排出されます。

排出された用紙を確認し、インクが付いている場合は再度クリーニングを行います。

再度クリーニングを行ってもインクが付くときは、プリンタ内部の突起が汚れている場合があります。手順にしたがって清掃してください。→ P.75

重要

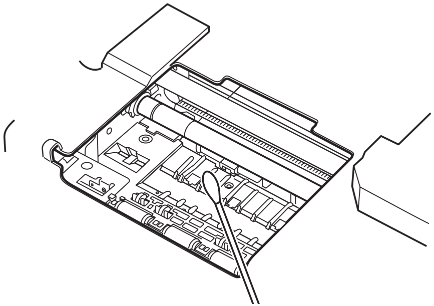
インク拭き取りクリーニング中はほかの操作をしないでください。

プリンタ内部の突起を清掃する

プリンタ内部の突起が汚れている場合は、綿棒などを使ってインク汚れを丁寧に拭き取ってください。

重要

清掃をする際には、プリンタの電源を切ってください。



プリンタの設定を変更する

ここでは、各設定メニューを使ってプリンタの設定を変更する手順と、設定項目について説明します。

設定変更の操作

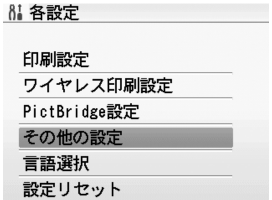
1 プリンタの準備をする

プリンタの電源を入れます。→ P.15

2 各設定を確認／変更する

❶ 設定画面を表示します。→ P.11

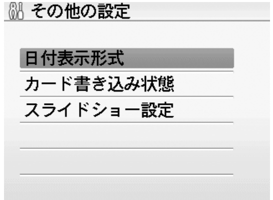
❷ ［各設定］を選び、OKボタンを押します。



❸ 設定するメニュー項目を選び、OKボタンを押します。

例：［その他の設定］を選びます。

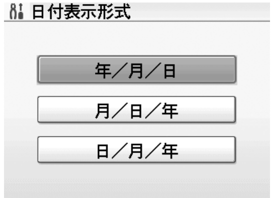
選んだ項目のメニュー画面が表示されます。



❹ 設定する項目を選び、OKボタンを押します。

例：［日付表示形式］を選びます。

選んだ項目の設定画面が表示されます。



❺ 設定を選び、OKボタンを押します。

例：［年／月／日］を選びます。

各設定項目について

印刷設定

◆インク乾燥待ち時間

印刷面がこすれてしまった場合のみ設定します。

重要

1 枚ごとの印刷時間が長くなるので、印刷終了後は［標準］に戻してください。

ワイヤレス印刷設定

詳しくは、「ワイヤレス通信対応機器から印刷する」の「印刷する用紙やレイアウトを設定する」（P.48）を参照してください。

Bluetooth 設定

詳しくは、「ワイヤレス通信対応機器から印刷する」の「Bluetooth 通信で印刷する」（P.51）を参照してください。

PictBridge 設定

詳しくは、「PictBridge 対応機器から印刷する」の「プリンタ側で PictBridge の印刷設定を確認／変更するには」（P.45）を参照してください。

その他の設定

◆日付表示形式

印刷する撮影日の日付の並び順を変更します。

参考

- 詳細設定画面で［日付］を［日付 ON］に設定しているときは、選んだ日付の並び順で撮影日が印字されます。詳細設定については、「印刷の設定を変更する－詳細設定」（P.39）を参照してください。
- DPOF 印刷するとき、撮影日の日付の並び順は DPOF の設定にしたがって印刷されます。

◆カード書き込み状態

パソコンからメモリーカードに書き込みできるようにするか選びます。

重要

- メモリーカードにデータを書き込むときは、本プリンタを AC アダプタに接続してください。オプションのバッテリ使用時は［書き込み可能］に設定することはできません。AC アダプタとバッテリ両方が接続されているときは［書き込み可能］に設定することができますが、カード書き込みを行う場合は AC アダプタを外さないでください。
- ［書き込み可能］に設定した場合は、カードダイレクト印刷ができなくなります。メモリーカード専用ドライブの操作を終了後、必ず同様の操作で［書き込み禁止］に戻してください。また、プリンタの電源を切った場合も［書き込み可能］は解除され、次回電源 ON 時には［書き込み禁止］に設定が戻ります。

◆スライドショー設定

スライドショーで表示する写真の画質を、［画質標準］または［画質きれい］から選択します。

参考

［画質きれい］を選ぶと、スライドショーで写真が表示されるまで時間がかかる場合があります。

言語選択

液晶モニターに表示する言語を変更します。

設定リセット

表示する言語、プリントヘッドの位置以外の設定を、ご購入時の設定に戻すことができます。

用紙設定保存

用紙と印刷の設定を保存することができます。

用紙設定呼出

保存した用紙と印刷の設定を呼び出すことができます。

困ったときには

プリンタを使用中にトラブルが発生したときの対処方法について説明します。
ここでは、液晶モニターに表示されるエラーメッセージやデジタルカメラから直接印刷しているときにカメラに表示されるエラーメッセージ、使用中に発生しやすいトラブルを中心に説明します。
該当するトラブルが見つからないときには、『プリンタガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

液晶モニターにエラーメッセージが表示されている

エラー／確認メッセージ	対処方法
メモリーカードに写真がありません	● セットしたメモリーカードに読み込める画像データが保存されていません。 ● 画像ファイル名（フォルダ名）に、全角文字（漢字、カナ等）があると、認識できない場合があります。全角文字を半角英数字に変更してみてください。 ● パソコン上で編集／加工したデータは、必ずパソコンから印刷を行ってください。
ヘッドのロックレバーが正しく装着されていません 本体カバーを開け、レバーの両脇にあるロックボタンを押してください	● プリントヘッドのロックレバーが正しくセットされていません（ロックレバーは左右2 箇所にツメがあります）。左右のツメがカチッというまでロックレバーを押し込んでください。 ● インクタンクが正しくセットされていません。インクタンクがカチッというまで押し込んでください。

エラー／確認メッセージ	対処方法
下記のインクがなくなった可能性があります インクの交換をお勧めします U041	インクがなくなった可能性があります（インクランプが点滅しています）。 インクタンクを交換することをお勧めします。 印刷が終了していない場合は、インクタンクを取り付けたままプリンタの OK ボタンを押すと、印刷を続けることができます。印刷が終了したらインクタンクを交換することをお勧めします。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因となるおそれがあります。
下記のインクタンクが認識できません U140 U150	● 本機がサポートできないインクタンクが取り付けられています（インクランプが消灯しています）。 正しいインクタンクを取り付けてください。 ⇒「インクタンクを交換する」（P.66） ● インクタンクにエラーが発生しました（インクランプが消灯しています）。インクタンクを交換してください。⇒「インクタンクを交換する」（P.66）
下記のインクなしを検知しました インクタンクを交換してください U170	インクがなくなりました（インクランプが点滅しています）。 インクタンクを交換して、本体カバーを閉じてください。 このまま印刷を続けるとプリンタに損傷を与えるおそれがあります。 印刷を続けるには、インク残量検知機能を無効にする必要があります。プリンタのストップ／リセットボタンを5秒以上押してから離してください。 ＊この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障についてはキヤノンは責任を負えない場合があります。

エラー／確認メッセージ	対処方法
下記のインクの残量を正しく検知できません インクタンクを交換してください U180	インクの残量を正しく検知できません。 インクタンクを交換して、本体カバーを閉じてください。 一度空になったインクタンクで印刷を続けると、プリンタに損傷を与えるおそれがあります。 印刷を続けるには、インク残量検知機能を無効にする必要があります。プリンタのストップ／リセットボタンを5秒以上押してから離してください。 ＊この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インクを補充したことが原因の故障についてはキヤノンは責任を負えない場合があります。
プリントヘッドが装着されていません プリントヘッドを装着してください／ プリントヘッドの種類が違います 正しいプリントヘッドを装着してください	『かんたんスタートガイド』の説明にしたがってプリントヘッドを取り付けてください。 プリントヘッドが取り付けられている場合は、プリントヘッドをいったん取り外し、取り付け直してください。 それでもエラーが解決されないときには、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。→「お問い合わせの前に」（P.102）
インク吸収体が満杯に近づきました [OK] で継続できますが、早めに修理受付窓口に連絡してください	インク吸収体が満杯に近づいています。 本プリンタは、クリーニングなどで使用したインクがインク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、プリンタの OK ボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口へご連絡ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

エラー／確認メッセージ	対処方法
インク吸収体の交換が必要です お客様相談センターまたは修理受付窓口にご連絡ください	インク吸収体が満杯になりました。 本プリンタは、クリーニングなどで使用したインクがインク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、交換が必要です。お客様相談センターまたは修理受付窓口へご連絡ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。
接続した機器は本機に対応していない可能性があります いったん取り外し、接続した機器の取扱説明書を確認してください	接続しているケーブルを抜き、再度ケーブルを接続してください。 PictBridge 対応機器から印刷する場合、ご使用のカメラの機種により、接続する前に PictBridge 対応機器で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。 それでもエラーが解決されないときは、本プリンタで対応していないデジタルカメラ、デジタルビデオカメラが接続されている可能性があります。本プリンタで対応しているデジタルカメラ、デジタルビデオカメラを使用してください。
＊＊＊＊ プリンタトラブルが発生しました	プリンタの電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。オプションのバッテリをご使用の場合は、いったんバッテリを取り外してください。しばらくしてから、プリンタの電源を入れ直してみてください。それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。→「お問い合わせの前に」(P.102)

エラー／確認メッセージ	対処方法
バッテリがありません プリンタの電源を切り、AC電源を使用するか、充電済のバッテリをセットしてください	オプションのバッテリ容量がなくなっています。 ① プリンタの電源をオフにする ② 付属の AC アダプタを接続するか、充電済みのバッテリをセットして、プリンタの電源をオンにする バッテリの操作については、バッテリに付属の取扱説明書をご覧ください。
カード書き込み状態が、書き込み可能に設定されています 書き込み禁止に設定してから操作してください	カードスロットが［書き込み可能］になっています。 このモードに設定されていると印刷できません。書き込みの操作を終了後、［書き込み禁止］に戻してください。

エラー／確認メッセージ	対処方法
自動ヘッド位置調整に失敗しました [OK］を押して操作をやり直してください << 使用説明書を参照 >>	● L 判以外の用紙がセットされています。 プリンタの OK ボタンを押してエラーを解除し、付属の用紙またはキヤノン純正の L 判の用紙*を2枚オートシートフィーダにセットしてください。 ● 用紙がセットされていません。 プリンタのオートシートフィーダに用紙をセットし、OK ボタンを押してエラーを解除してください。 ● 用紙の表裏を間違えています。 プリンタの OK ボタンを押してエラーを解除し、印刷する面を上側にして、付属の用紙またはキヤノン純正の L 判の用紙 *2 枚をオートシートフィーダにセットしてください。 ● 用紙ガイドが用紙の端に当たっていません。 用紙ガイドが用紙の端に当たっていないと、用紙が斜め向きでプリンタ内を通過し、自動ヘッド位置調整に失敗することがあります。 プリンタの OK ボタンを押してエラーを解除し、付属の用紙またはキヤノン純正の L 判の用紙*を2枚オートシートフィーダにセットして、用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。 ● ノズルが目づまりしています。 プリンタの OK ボタンを押してエラーを解除し、ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。 →「ノズルチェックパターンを印刷する」(P.61） ● プリンタの排紙口内に強い光が当たっています。 プリンタの OK ボタンを押してエラーを解除し、排紙口内に光が当たらないように調整してください。上記の対策をとったあと、再度ヘッド位置調整を行ってもエラーが解決されないときには、プリンタの OK ボタンを押してエラーを解除したあと、手動でヘッド位置調整を行ってください。

エラー／確認メッセージ	対処方法
	* 以下の用紙をご使用ください。 ・マットフォトペーパー MP-101L ・スーパーフォトペーパー SP-101L

参考 プリントヘッド位置を手動で調整するには

自動調整が正しく行えないときや任意に調整するときは、以下の操作にしたがって手動調整してください。

① プリンタの電源を入れ、オートシートフィーダに付属の用紙またはキヤノン純正の L 判の用紙 * を 2 枚セットする

② ホームボタンを押す

③ [設定］を選び、OK ボタンを押す

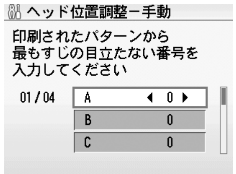
④ [メンテナンス］を選び、OK ボタンを押す

⑤ [ヘッド位置調整 - 手動］を選び、OK ボタンを押す

⑥ [はい］を選び、OK ボタンを押す

プリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

⑦ [パターンは正常に印刷されましたか］のメッセージが表示されたら、正常に印刷されていることを確認し、[はい］を選び、OK ボタンを押す
ヘッド位置の調整値を入力する画面が表示されます。



⑧ 印刷結果を見て、A 列から D 列それぞれで最もすじの目立たないパターン番号を ◀▶ ボタンで選び、OK ボタンを押す

⑨ 用紙がセットされていることを確認し、[はい］を選び、OK ボタンを押す
2 枚目のプリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

⑩ 手順⑦、⑧と同様の操作で E、F 列のパターン番号を選び、OK ボタンを押す

* 以下の用紙をご使用ください。
・マットフォトペーパー MP-101L
・プロフェッショナルフォトペーパー PR-101L
・スーパーフォトペーパー SP-101L

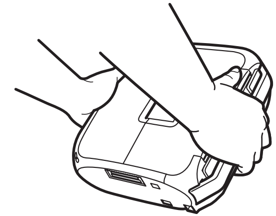
液晶表示が見えない

原　因	対処方法
液晶表示が見えない	● 電源ランプが消えている場合 ACアダプタを接続し、電源ボタンを押すと、電源が入り、液晶モニターにメッセージが表示されます。 ● 電源ランプが点灯している場合 操作パネルの OK ボタンを押してください。

日本語以外の言語が表示されている

原　因	対処方法
誤って日本語以外の言語に設定してしまった	以下の操作にしたがって、日本語設定に戻してください。 ① ホームボタンを押し、5 秒以上待ってから を選び、OK ボタンを押す ② ▶ ボタンで を選び、OK ボタンを押す ③ ▼ ボタンを 4 回押し、OK ボタンを押す Bluetooth ユニットを取り付けているときは、▼ ボタンを 5 回押し、OK ボタンを押してください。 ④ ▲▼ ボタンで［日本語］を選び、OK ボタンを押す

メモリーカードが取り出せない

原　因	対処方法
xD-Picture カード／メモリースティックDuo／メモリースティック PRO Duo ／ miniSD カードを、メモリーカード専用のカードアダプタに取り付けないままセットした	カード挿入口を若干下に向けるようにして傾けて、カードを取り出してください。プリンタが落下しますと危険ですので、しっかりと固定された広い台の上で行ってください。 それでも取り出せない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。→ P.102  重要 故障の原因となりますので、細い棒やピンセットなどを使用して取り出そうとしないでください。

困ったときには

プリンタドライバがインストールできない

原　因	対処方法
Windows インストールの途中で先の画面に進めなくなった	［プリンタの接続］画面から先に進めなくなった場合は、次の操作にしたがってインストールをやり直してください。  ①［キャンセル］ボタンをクリックする ②［インストール失敗］画面で［もう一度］ボタンをクリックする ③表示された画面で［戻る］ボタンをクリックする ④［PIXUS mini260］画面で［終了］ボタンをクリックし、CD-ROM を取り出す ⑤プリンタの電源を切る ⑥パソコンを再起動する ⑦ほかに起動しているアプリケーションソフト（ウイルス対策ソフトも含む）がないか確認する ⑧「パソコンから印刷してみよう」に記載されている手順にしたがい、プリンタドライバをインストールする

原　因	対処方法
『セットアップ CD-ROM』が自動的に起動しない	**Windows** ［スタート］メニューから［マイコンピュータ］を開き、CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。 Windows XP 以外をご使用の場合は、［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、開いたウィンドウにある CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。 **参考** ファイル名を指定する場合は、CD-ROM ドライブ名およびインストールプログラム名（Msetup4.exe）を入力してください。CD-ROM ドライブ名はパソコンによって異なります。 **Macintosh** 画面上に表示された CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。 CD-ROM のアイコンが表示されない場合は、CD-ROM に問題がある可能性があります。キヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。→「お問い合わせの前に」（P.102）
手順どおりにインストールしていない	「パソコンから印刷してみよう」に記載されている手順にしたがい、プリンタドライバをインストールしてください。 プリンタドライバが正しくインストールされなかった場合は、プリンタドライバを削除し、パソコンを再起動します。そのあとに、プリンタドライバを再インストールしてください。 →『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』 **参考** Windows のエラーが原因でインストーラが強制終了した場合は、Windows が不安定になっている可能性があり、プリンタドライバがインストールできなくなることがあります。パソコンを再起動して再インストールしてください。

パソコンとの接続がうまくいかない

● 印刷速度が遅い／ USB 2.0 Hi-Speed として動作しない

原　因	対処方法
USB 2.0 Hi-Speed に対応していない環境で使用している	USB 2.0 Hi-Speed に対応していない環境では、USB 1.1 での接続となります。この場合、プリンタは正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷速度が遅くなることがあります。 ご使用の環境が USB 2.0 Hi-Speed に対応しているか、次の点を確認してください。 ● パソコンの USB ポートが、USB 2.0 に対応しているか確認してください。 ● USB ケーブルと USB ハブが、USB 2.0 に対応しているか確認してください。 USB ケーブルは、必ず USB 2.0 認証ケーブルをご使用ください。また、長さ 3 m 以内のものをお勧めします。 ● ご使用のパソコンが、USB 2.0 に対応した状態になっているか確認してください。 最新のアップデートを入手して、インストールしてください。 ● USB 2.0 対応の USB ドライバが正しく動作しているか確認してください。 USB 2.0に対応した最新のUSB2.0 ドライバを入手して、再インストールしてください。 重要 上記の確認事項の操作方法につきましては、ご使用のパソコンメーカーまたは USB ケーブルメーカー、USB ハブメーカーにご確認ください。

● Windows XP のパソコンに接続すると、画面に「高速ではない USB ハブに接続している高速 USB デバイス」または「さらに高速で実行できるデバイス」と警告文が表示される

原　因	対処方法
USB 2.0 Hi-Speed に対応していないパソコンに接続している	ご使用の環境が USB 2.0 Hi-Speed に対応していないことを示しています。「印刷速度が遅い／ USB 2.0 Hi-Speed として動作しない」（P.85）を参照してください。

印刷結果に満足できない

● 最後まで印刷できない

原　因	対処方法
［用紙サイズ］の設定が印刷する用紙にあっていない	操作パネルで設定している用紙サイズが、実際にプリンタにセットした用紙のサイズに合っていないと、データの一部が印刷されないことがあります。 操作パネルで［用紙サイズ］の設定を確認してください。

● カラーの発色が良くない

原　因	対処方法
操作パネルで正しい用紙が選ばれていない	操作パネルの［用紙の種類］の設定が、プリンタにセットした用紙の種類と合っているか確認してください。 写真またはイラストを印刷する場合、［用紙の種類］の設定があっていないと、カラーの発色が良くないことがあります。

● インクが出ない／印刷されない／印刷がかすれる／違う色になる／罫線がずれる

原　因	対処方法
インクがない	インクタンクが正しくセットされていないか、インクがなくなっています。 液晶モニターに表示されているエラーメッセージを確認し、エラーを解除してください。 →「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」(P.79) インクランプがゆっくり点滅（約３秒間隔）している場合は、インクが少なくなっています。この場合でも、印刷にかすれがあるときは、インクタンクを交換してください。
インクタンクがしっかりセットされていない	インクランプが消えている場合は、インクタンクのラベル上の PUSH 部分を「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクをセットしてください。しっかりセットされると、インクランプが赤く点灯します。
操作パネルで正しい用紙が選ばれていない	操作パネルで選ばれている用紙の種類が、プリンタにセットしている用紙と合っているか確認してください。
プリントヘッドが目づまりしている	本体カバーを開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください。 →「インク残量を確認する」(P.66) ノズルチェックパターンを印刷してインクが正常に出ていることを確認してください。 →「ノズルチェックパターンを印刷する」(P.62) ● インクが正常に出ていない場合 →「プリントヘッドをクリーニングする」(P.63) →「プリントヘッドを強力クリーニングする」(P.64)
用紙の裏表を間違えている	片面にのみ、印刷可能な用紙があります。 裏表を間違えると、かすれたり、違う色で印刷されたりすることがあるので注意してください。 用紙の印刷面については、『プリンタガイド（電子マニュアル）』の「いろいろな用紙に印刷してみよう」を参照してください。
プリントヘッド位置がずれている	プリントヘッドの位置調整をしないで印刷を行うと、罫線がずれて印刷されることがあります。プリントヘッドを取り付けたあとは、必ず位置調整を行ってください。 「プリントヘッド位置を調整する」（P.65）を参照して、自動ヘッド位置調整を行ってください。それでも印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を手動で調整するには」（P.82）を参照して、手動ヘッド位置調整を行ってください。
適切な印刷品質が選ばれていない	操作パネルで、［印刷品質］を［きれい（画質優先)］に設定してください。

● 白いすじが入る

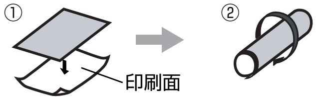
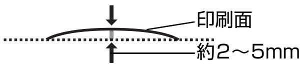
原　因	対処方法
プリントヘッドが目づまりしている	ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。 ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合は、本体カバーを開け、インクランプが赤く点灯していることを確認してください。 インクが十分残っているのに印刷されない場合は、プリントヘッドをクリーニングしてから、ノズルチェックパターンを印刷して効果を確認してください。 この操作を2回繰り返しても改善されない場合は、強力クリーニングを実行してください。 それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
操作パネルで正しい用紙が選ばれていない	操作パネルで選ばれている用紙の種類が、プリンタにセットしている用紙と合っているか確認してください。
適切な印刷品質が選ばれていない	操作パネルで、［印刷品質］を［きれい（画質優先）］に設定してください。 特にコート紙（高級紙）をご使用の場合は、印刷品質を優先する設定にして印刷すると、白いすじが軽減されます。

● 用紙が反る／インクがにじむ

原　因	対処方法
薄い用紙を使用している	写真や色の濃い絵など、インクを大量に使用する印刷をするときは、プロフェッショナルフォトペーパーなどの写真専用紙に印刷することをお勧めします。
操作パネルで正しい用紙が選ばれていない	操作パネルで選ばれている用紙の種類が、プリンタにセットしている用紙と合っているか確認してください。
適切な印刷品質が選ばれていない	操作パネルで、［印刷品質］を［きれい（画質優先）］に設定して印刷してみてください。 カラーや黒が接する部分が多い原稿でも、にじみが少なくなります。
インクが乾燥するまでに時間がかかる	操作パネルで［設定］→［各設定］→［印刷設定］の［インク乾燥待ち時間］の設定を長くしてみてください。印刷面が乾きやすくなり、用紙の反りやインクのにじみを防ぎます。

● 印刷面がこすれる／用紙・はがきが汚れる

原　因	対処方法
給紙ローラが汚れている	用紙がうまく送られないときは、給紙ローラを清掃してください。給紙ローラのクリーニングは給紙ローラを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。 →「給紙ローラクリーニングを行う」(P.73)
プリンタ内部が汚れている	たくさん印刷を行うと、プリンタの内側にインクが付いて用紙が汚れる場合があります。 インク拭き取りクリーニングを行って、プリンタ内部をお手入れしてください。 →「インク拭き取りクリーニングを行う」(P.74)
適切な用紙を使用していない	● 厚い用紙や反りのある用紙を使用していないか確認してください。 →「用紙について」(P.17) ● フチなし全面印刷を行っている場合は、用紙の上端および下端の印刷品質が低下する場合があります。

原　因	対処方法
反りのある用紙を使用している	四隅や印刷面全体に反りのある用紙を使用した場合、用紙が汚れたり、うまく送れなかったりする恐れがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。 ① 印刷面を上にし、表面が傷つくことを防ぐために、印刷しない普通紙などを 1 枚重ねる ② 下の図のように反りと逆方向に丸める  ③ 印刷する用紙が、約 2 ～ 5mm 以内で反りが直っていることを確認する  反りを修正した用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお奨めします。
紙間選択レバーが適切でない	紙間選択レバーを印刷する用紙に合わせてセットしてください。 紙間選択レバーの設定については、『プリンタガイド（電子マニュアル）』の「いろいろな用紙に印刷してみよう」を参照してください。 右にセットする用紙でも、印刷内容によっては印刷面がこすれることがあります。この場合は、紙間選択レバーを左にセットしてください。 ＊印刷後は、紙間選択レバーを右に戻してください。レバーを戻さないと、プリントヘッドと印刷する用紙の間隔が広がったままになり、プリンタ内部が汚れやすくなります。また、画質が低下する場合があります。

原　因	対処方法
操作パネルで正しい用紙が選ばれていない	操作パネルで選ばれている用紙の種類が、プリンタにセットしている用紙と合っているか確認してください。また、印刷内容によっては設定が適切でもこすれることがあります。この場合は、紙間設定レバーを左に設定してください。
紙どうしがこすれる	用紙の種類によっては、オートシートフィーダに引き込まれる際に紙どうしがこすれることで、印刷面に、こすれや跡が残ることがまれにあります。そのような場合は、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。

● 色むらや色すじがある

原　因	対処方法
適切な印刷品質が選ばれていない	操作パネルで、［印刷品質］を［きれい（画質優先）］に設定して印刷してみてください。 特に、インクを大量に使う原稿の場合、印刷品質を優先する設定にして印刷すると、色むらが軽減されます。

印刷が始まらない／途中で止まる

● 印刷が始まらない

原　因	対処方法
インクがない	インクタンクが正しくセットされていないか、インクがなくなっています。 液晶モニターに表示されているエラーメッセージを確認し、エラーを解除してください。 →「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.79）

原　因	対処方法
インクタンクがしっかりセットされていない	インクランプが消えている場合は、インクタンクのラベル上の(PUSH)部分を「カチッ」という音がするまでしっかり押して、インクタンクをセットしてください。しっかりセットされると、インクランプが赤く点灯します。

● 印刷が途中で止まる

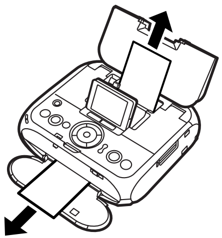
原　因	対処方法
用紙がない	プリンタに用紙が残っているか確認してください。 用紙がセットされていない場合は、用紙をセットしてください。

用紙がうまく送られない

原　因	対処方法
適切な用紙を使用してない	厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください。 →「用紙について」(P.17)
給紙ローラが汚れている	用紙がうまく送られないときは、給紙ローラをクリーニングしてください。給紙ローラの清掃は給紙ローラを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。 →「給紙ローラクリーニングを行う」(P.73)
用紙のセット方法が正しくない	用紙をセットするときは、次のことに注意してください。 ・ 複数枚の用紙をセットするときは、用紙の端をそろえてからセットすること ・ 印刷の向きに関わらず縦向きにセットすること ・ オートシートフィーダの右端に用紙を合わせること ・ 用紙ガイドを用紙の左端に軽く当てること

原　因	対処方法
オートシートフィーダに異物がある	オートシートフィーダに異物がないことを確認してください。

用紙がつまる

原　因	対処方法
排紙口／オートシートフィーダで用紙がつまった	次の手順にしたがって用紙を取り除きます。 ① 排紙側または給紙側の引き出しやすいほうから用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く  ・ 用紙が破れてプリンタ内部に残った場合は、本体カバーを開けて取り除いてください。用紙を取り除いたら、本体カバーを閉じたあとにプリンタの電源を切り、電源を入れ直してください。 * このとき、内部の部品には触れないようにしてください。 ・ 用紙が引き抜けない場合は、プリンタの電源を切り、電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出されます。 ② 用紙をセットし直し、プリンタの (OK) ボタンを押す ・ 手順 1 で電源を入れ直した場合、プリンタに送信されていた印刷データが消去されますので、もう一度印刷の指示をしてください。 参考 ・ 用紙のセット方法については、「用紙をセットする」(P.17) を参照してください。 ・ 用紙をセットし直すときは「用紙がうまく送られない」(P.89) を参照し、用紙が印刷に適しているか、セットのしかたが正しいか確認してください。 ・ 用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。→「お問い合わせの前に」(P.102)
横向きにセットした名刺サイズ用紙、カードサイズ用紙がプリンタ内部でつまった	名刺サイズ用紙、カードサイズ用紙は横向きにはセットできません。 次の手順にしたがってつまった用紙を取り除きます。 ① 用紙を 1 枚、オートシートフィーダに縦向きにセットする 横向きにはセットしないでください。 ② 印刷を行う 用紙が給紙され、つまった用紙を押し出しながら排紙されます。 用紙が取り除けない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。→「お問い合わせの前に」(P.102)

電源ランプ（青色）とエラーランプ（オレンジ色）が交互に点滅している（修理が必要なエラーが発生）

原　因	対処方法
サービスが必要なエラーが起こっている可能性があります	プリンタの電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。しばらくしてから、プリンタの電源を入れ直してみてください。それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。→「お問い合わせの前に」(P.102)

デジタルカメラからうまく印刷できない

デジタルカメラやデジタルビデオカメラ*から直接印刷を行ったときに、カメラにエラーが表示される場合があります。表示されるエラーと対処方法は以下のとおりです。

* 以降、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラを総称して、カメラと記載します。

- 本プリンタと接続して直接印刷できるのは、PictBridge 対応のカメラです。
- 以下の説明は、キヤノン製 PictBridge 対応のカメラに表示されるエラーについて説明しています。ご使用のカメラにより表示されるエラーやボタン操作が異なる場合があります。

  キヤノン製以外のPictBridge対応カメラを使用していて､カメラからのプリンタエラーの解除方法がわからない場合は、プリンタの液晶モニターに表示されるエラーメッセージを確認してエラーを解除してください。プリンタのエラー解除方法は「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.79）を参照してください。
- 接続した状態での操作時間が長すぎたり、データ送信に時間がかかりすぎる場合は、通信タイムエラーとなり印刷できない場合があります。そのときは、カメラから一度接続ケーブルを抜いてから、再度ケーブルを接続してください。ケーブルを接続しただけでは、自動で電源が入らないカメラをご使用の場合は、手動で電源を入れてください。それでも改善されない場合は、ほかの写真を選んで印刷できるか確認してください。
- ご使用の PictBridge 対応機器の種類により、接続する前に印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。

  ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。
- 印刷にかすれやむらがあるときは、プリントヘッドのノズルが目づまりしている可能性があります。「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.61）を参照して対処してください。
- 印刷時に用紙が反ったり、印刷面がこすれたりした場合は、適切な用紙に印刷しているか確認してください。適切な用紙に印刷しても印刷面がこすれるときは、紙間選択レバーを左側にセットしてください。→ P.8
- 表示されるエラーや対処方法については、カメラに付属の取扱説明書もあわせて参照してください。その他、カメラ側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

カメラ側エラー表示	対処方法
プリンターは使用中です	パソコンなどから印刷しています。 印刷が終了するまでお待ちください。 準備動作を行っている場合は、終了するまでお待ちください。
用紙（ペーパー）がありません	プリンタに用紙をセットして、カメラのエラー画面で［続行］* を選んでください。
用紙（ペーパー）が詰まりました	カメラのエラー画面で［中止］を選び、印刷を中止してください。 用紙を取り除き、用紙をセットし直してからプリンタのOKボタンを押し、再度印刷を行ってください。
紙間レバー位置が不正です	紙間選択レバーを右にセットします。 印刷面がこすれる場合は、紙間選択レバーを左にセットします。 印刷後は、紙間選択レバーは右にセットしておきます。
プリンターカバーが開いています	プリンタの本体カバーを閉じてください。

※［続行］を選ぶ代わりに、プリンタの OK ボタンを押しても有効です。

カメラ側エラー表示	対処方法
プリントヘッド未装着	プリントヘッドが装着されていないか、プリントヘッドの不良です。 『かんたんスタートガイド』の説明にしたがってプリントヘッドを取り付けてください。 プリントヘッドが取り付けられている場合は、プリントヘッドを取り外し、取り付け直してください。 それでもエラーが解決されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。→「お問い合わせの前に」(P.102)
廃インクタンク（インク吸収体）が満杯です／インク吸収体が満杯です	インク吸収体が満杯になりそうです。 本プリンタは、クリーニングなどで使用したインクがインク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、カメラのエラー画面で［続行］* を選ぶと、印刷を再開します。満杯になると、インク吸収体を交換するまで印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口へご連絡ください。インク吸収体はお客様ご自身で交換はできません。→「お問い合わせの前に」(P.102)
インクがありません	インクタンクが正しくセットされていないか、インクがなくなっています。 液晶モニターに表示されているエラーメッセージを確認し、エラーを解除してください。→「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」(P.79)

カメラ側エラー表示	対処方法
インクエラー	一度空になったインクタンクが取り付けられています。 インクタンクを交換して、本体カバーを閉じてください。 一度空になったインクタンクで印刷を続けると、プリンタに損傷を与えるおそれがあります。印刷を続けるには、インク残量検知機能を無効にする必要があります。プリンタのストップ／リセットボタンを５秒以上押してから離してください。 * この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インクを補充したことが原因の故障についてはキヤノンは責任を負えない場合があります。
ハードウェアエラー	オプションのバッテリの容量が少なくなっています。以下の操作にしたがってください。 ① プリンタの電源をオフにする ② 付属の AC アダプタを接続するか、充電済みのバッテリをセットする ③ プリンタの電源をオンにする
	インクタンクにエラーが発生しました。 インクタンクを交換してください。→「インクタンクを交換する」(P.66)
プリンタートラブル発生	サービスが必要なエラーが起こっている可能性があります（プリンタの電源ランプ（青色）とエラーランプ（オレンジ色）が交互に点滅）。 デジタルカメラと接続されているケーブルを抜いてからプリンタの電源を切り、プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。しばらくしてからプリンタの電源を入れ直し、デジタルカメラを接続してみてください。それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。→「お問い合わせの前に」(P.102)

ワイヤレス通信でうまく印刷できない

原　因	対処方法
プリンタの設置場所が正しくない	赤外線通信で印刷する場合は、プリンタと携帯電話の赤外線通信ポートが、正しい角度、距離で向き合うように置いてあるか、あいだを遮るものがないか確認してから、印刷をやり直してください。通信できる距離や角度は携帯電話の機能、外部環境により異なります。携帯電話との距離が 20 cm 以内で、通信が良好に行える位置に設置してください。
赤外線通信を行っているときに赤外線を遮った	データを受信中は、プリンタと赤外線通信の接続を切らないように注意してください。もし切れてしまった場合は、もう一度携帯電話からデータを送信してください。
赤外線通信で正しく印刷するための条件を満たしていない	プリンタの赤外線通信機能は、携帯電話が IrDA に準拠した赤外線通信ポートを備えた機種のみに対応しています。その他の携帯電話では、赤外線通信での印刷はできません。 →「ワイヤレス通信対応機器から印刷する」(P.48)
通信可能距離を超えている（Bluetooth 通信）	プリンタと携帯電話の距離を 10m 以内にして通信を行ってください。
プリンタの設置場所や、携帯電話との距離が正しくない（Bluetooth 通信）	本プリンタと携帯電話との通信距離は約 10m ですが、以下の状況によって変化することがあります。 ・ 通信機器間の障害物や電波状況 ・ 磁場、静電気、電波障害の発生する場所 ・ 通信する機器の受信感度、アンテナ性能 プリンタの設置場所を移動したり、携帯電話との距離を近づけてみてください。
対応している規格が異なる（Bluetooth 通信）	同じ Bluetooth 対応製品でも、対応している規格（プロファイル）が異なると印刷はできません。対応しているプロファイルについては、ご使用の携帯電話の使用説明書をご覧ください。
携帯電話の設定で印刷するプリンタを正しく選んでいない（Bluetooth 通信）	［Bluetooth 設定］の機種名選択画面で、現在のプリンタ名を確認できます。Bluetooth 対応機器からプリンタを検索したときに、確認したプリンタ名と一致するものを選択してください。 「Bluetooth 通信の設定を変更する」の「各設定項目について」(P.53) を参照してください。
Bluetooth ユニットがプリンタに正しく装着されていない（Bluetooth 通信）	正しく装着されているか確認してください。設定メニューの各設定画面に［Bluetooth 設定］が表示されていれば正しく装着されています。

参考

Bluetooth 通信ではパソコンから印刷できません。

Bluetooth ユニット（オプション）をお使いのかたへ

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。また、思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になる可能性がありますので、本書に記載されていること以外は行わないようにしてください。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

⚠ 警告
本製品から微弱な電磁波が出ています。心臓ペースメーカーをご使用のかたは、異常を感じましたら本製品から離れ、その後医師にご相談ください。
病院などの医療機関内や医療用電気機器の近くで使わないでください。 電波が、医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用してください。 電波が心臓ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
航空機内で使用しないでください。 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くでは使用しないでください。 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
分解したり改造したりしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。

使用する際のご注意

機器認定について

本プリンタは電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けています。したがって、本プリンタを使用するときに無線局の免許は必要ありません。
また本プリンタは、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- 本プリンタを分解または改造すること
- 本プリンタの裏面にある証明番号を消すこと

BU-20 仕様

PIXUS mini260 と組み合わせて使用する場合の、Bluetooth ユニット BU-20 の仕様は以下のとおりです。

通信方式	Bluetooth 標準規格 Ver1.2
出力	Bluetooth 標準規格 Power Class2
通信距離	通信距離は約 10m ですが、以下の状況によって変化する場合があります。また、以下の状況により、印刷速度が変化する場合があります。 ●通信機器間の障害物や電波状況 ●磁場、静電気、電波障害の発生する場所 ●通信する機器の受信感度、アンテナ性能
対応 Bluetooth プロファイル	OPP (Object Push Profile) BIP (Basic Imaging Profile)
使用周波数帯	2.4GHz 帯
通信速度	約 720kbps
電源	PIXUS mini260 から供給、 DC 4.4V ～ 5.25V
消費電力	500 mW (MAX)
動作温度	5 ℃～ 35 ℃
動作湿度	10%RH ～ 90%RH（ただし、結露がないこと）
最大外形寸法	18.5 mm × 47.5 mm × 8.7 mm （キャップ装着状態）
重量	約 7 g

仕様

プリンタ本体	
印刷解像度（dpi）	9600*（横）× 2400（縦） * 最小 1/9600 インチのドット（インク滴）間隔で印刷します。ただし、パソコンを使用して印刷したときに限ります。
印字幅	最長　94.8 mm （フチなし印刷時 101.6 mm）
稼動音	約 38 dB（A）（最高品位時）
動作環境	温度：5 ～ 35 ℃ 湿度：10 ～ 90%RH（結露しないこと）
保存環境	温度：0 ～ 40 ℃ 湿度：5 ～ 95%RH（結露しないこと）
電源	AC アダプタ　100 - 240V　50/60Hz
消費電力	印刷時：約 13 W 待機時：約 1.7 W 電源 OFF 時：約 0.4 W ※電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。完全に電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
寸法	226 mm（横）× 225 mm（奥行き）× 82 mm（高さ） ※給紙トレイおよび排紙トレイを格納した状態
質量	本体　約 2.2 kg* * プリントヘッド／インクタンクを取り付けた状態
プリントヘッド	1536 ノズル（シアン／マゼンタ　各 512 ノズル、イエロー／染料ブラック　各 256 ノズル）

AC アダプタ	
寸法	118 mm（横）× 58 mm（縦）× 32 mm（高さ）
質量	約 230 g
定格入力	AC 100 - 240 V
定格出力	DC 16 V　2.0 A

PictBridge	
用紙サイズ（ペーパーサイズ）	標準設定（プリンタの設定にしたがう）、L 判（SP-101 L/PR-101 L/SG-101 L/EC-101 L/EC-201 L）、はがき（PH-101/KH-201N/PS-101*/PS-201*/PSHRS*/ 普通紙）、カード（EC-101 カード）、ワイド（PR-101） * キヤノン純正のシール紙です。レイアウトで 2 面／ 4 面／ 9 面／ 16 面に該当する選択項目がある場合のみ印刷できます。→ P.19
用紙タイプ（ペーパータイプ）	標準設定（プリンタの設定にしたがう）、フォト（スーパーフォトペーパー、光沢紙）、高級フォト（プロフェッショナルフォトペーパー）
レイアウト	標準設定（プリンタの設定にしたがう）、フチなし、フチあり、複数画像（2 面、4 面、9 面、16 面）* * キヤノン純正のシール紙に対応したレイアウトです。→ P.29
トリミング	標準設定（切：トリミングなし）、入（カメラ側の設定にしたがう）、切
イメージオプティマイズ（画像補正）	標準設定（プリンタの設定にしたがう）、入、切、VIVID*、NR（ノイズリダクション）*、顔明るく *、赤目補正 * * キヤノン製 PictBridge 対応のカメラのみ設定可能
日付／画像番号（ファイル番号）印刷	標準設定（切：印刷しない）、日付、画像番号（ファイル）、両方、切
対応機種	PictBridge 対応機器

動作環境 *1				
Windows*2				
インタフェース	OS	CPU	メモリ	ハードディスク空き容量 *4
USB 2.0 Hi-Speed	Windows XP SP1, SP2 Windows 2000 Professional	Pentium III® 以上 *3 (Celeron :566 MHz 以上)	128 MB 以上	200 MB 以上
USB	Windows XP SP1, SP2 Windows 2000 Professional SP2, SP3, SP4	Pentium II 300 MHz 以上 *3		
Macintosh*2				
インタフェース	OS	CPU	メモリ	ハードディスク空き容量 *4
USB 2.0 Hi-Speed USB	Mac OS X v.10.4	Intel 製プロセッサ PowerPC G3/G4/G5	256 MB 以上	200 MB 以上
	Mac OS X v.10.2.8 - v.10.3		128 MB 以上	

*1 OS の動作条件が高い場合はそれに準じます
最新情報はキヤノンピクサスホームページ（canon.jp/pixus）をご覧ください
*2 USB または USB 2.0 Hi-Speed が標準装備され、Windows XP、2000 または Mac OS X v.10.2.8 - v.10.4 のいずれかがプレインストールされているコンピュータ
*3 互換プロセッサも含みます
*4 同梱アプリケーションをインストールするのに必要な容量

● CD-ROM ドライブ
● 表示機種：800 × 600 以上
カラー 16 ビット以上（Windows）／ 32000 色以上（Macintosh）
● Macintosh ファイルシステム：Mac OS 拡張（ジャーナリング）、Mac OS 拡張

電子マニュアルの動作環境	
Windows	Macintosh
ブラウザ：Windows HTML Help Viewer ※Microsoft® Internet Explorer 5.0 以上がインストールされている必要があります。ご使用の OS や Internet Explorer のバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、Windows Update で最新の状態に更新することをお勧めします。	ブラウザ：ヘルプビューア ※ご使用の OS のバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、最新のバージョンに更新することをお勧めします。

環境および化学安全情報

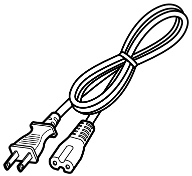
製品の環境情報および化学安全情報（MSDS）につきましては、キヤノンホームページにてご覧いただけます。
canon.jp/ecology

本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要になったときは、回収・リサイクルに出しましょう。

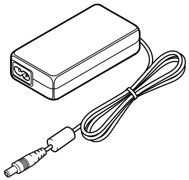
同梱物とオプションについて

同梱物について

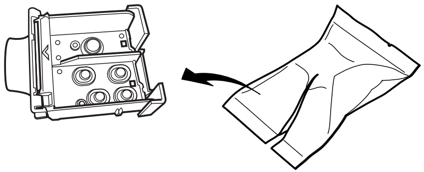
◆プリンタ本体



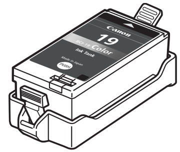
電源コード



AC アダプタ



プリントヘッド



インクタンク
（BCI-19 Color）

◆セットアップ CD-ROM

◆保証書

◆サポートガイド

◆L 判サイズ用紙 4 枚
（プリントヘッド位置調整用）

◆使用説明書

かんたんスタートガイド

操作ガイド（本書）

参考

USB ケーブルは同梱されていません。

オプションについて

本プリンタには、以下のオプションが用意されています。商品名をご確認のうえ、お買い求めください。

◆ポータブルキット　LK-60

本プリンタをバッテリで動作させるためのキットで、バッテリアタッチメントとバッテリがセットになったものです。
バッテリは、プリンタ本体に取り付けた状態で、AC アダプタを接続すると充電されます。
プリンタへの取り付けかたなどの詳しい使用方法は、ポータブルキットに付属のマニュアルをご覧ください。

バッテリ使用時の印刷可能枚数：約 100 枚（L 判）
* 印刷可能枚数は、写真の内容やバッテリの充電状態などにより多少変化します。

◆リチウムイオンバッテリ　LB-60

本プリンタで使用できるポータブルキットの交換用バッテリ（単体）です。

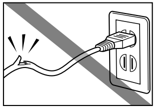
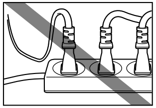
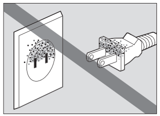
◆Bluetooth ユニット BU-20

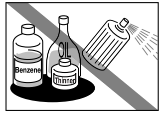
携帯電話から Bluetooth 通信を使って、ワイヤレスで印刷を行うときに使用します。

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

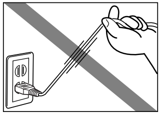
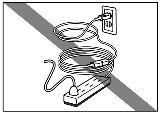
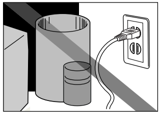
⚠ 警告　以下の注意事項を守らずにご使用になると、感電や火災、プリンタの損傷の原因となる場合があります。

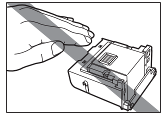
設置場所について	アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに置かないでください。
電源について	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
	電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
	電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。 
	ふたまたソケットなどを使ったタコ足配線をしないでください。 
	電源コードを束ねたり、結んだりして使わないでください。
	万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
	電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。 ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因となります。 
	同梱されている AC アダプタ（CANON, K30273）以外は使わないでください。また、同梱されている AC アダプタを他の製品に使わないでください。

お手入れについて	清掃のときは、水で湿らせた布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。 プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。 
	清掃のときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 清掃中に誤ってプリンタの電源が入ると、けがやプリンタの損傷の原因となることがあります。
取扱いについて	プリンタを分解、改造しないでください。 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。
	プリンタの近くでは、可燃性の高いスプレーなどは使用しないでください。 スプレーのガスが内部の電気部品に触れて、火災や感電の原因になります。

⚠ 注意　以下の注意を守らずにご使用になると、けがやプリンタの損傷の原因になる場合があります。

設置場所について	不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。
	湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。 火災や感電の原因になることがあります。 次の使用環境でお使いください。 温度：5 ℃～ 35 ℃　湿度：10%RH ～ 90%RH
	毛足の長いじゅうたんやカーペットなどの上には置かないでください。 毛やほこりなどが製品の内部に入り込んで火災の原因となることがあります。

電源について	電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。 
	延長電源コードは使用しないでください。 
	いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲にはものを置かないでください。 
	AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。なお、プリンタの動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源をお使いください。 電源電圧：AC100V　電源周波数：50/60Hz
	万一の感電を防止するために、コンピュータのアース接続をお勧めします。
取扱いについて	印刷中はプリンタの中に手を入れないでください。 内部で部品が動いているため、けがの原因となることがあります。
	プリンタの上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。 万一、異物（金属片や液体など）がプリンタ内部に入った場合は、電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。

プリントヘッド／インクタンクについて	安全のため、お子様の手の届かないところへ保管してください。 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。
	プリントヘッドやインクタンクを振らないでください。 インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。
	印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。 熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。 
AC アダプタについて	AC アダプタを持ち運んだり保管するときは、AC アダプタ本体にコードを巻き付けないでください。 コードの付け根部分が折れ曲がり、断線するおそれがあります。

- 蛍光灯などの電気製品の近くに置くときのご注意
  蛍光灯などの電気製品とプリンタは約50cm 以上離してください。近づけると蛍光灯のノイズが原因でプリンタが誤動作することがあります。
- 電源を切るときのご注意
  電源を切るときは、必ず電源ボタンを押して電源ランプ（青色）が消えていることを確認してください。電源ランプが点灯・点滅しているときに電源プラグをコンセントから抜いて切ると、その後印刷できなくなることがあります。

お問い合わせの前に

本書または「プリンタガイド」（CD-ROM）の「困ったときには」の章を読んでもトラブルの原因がはっきりしない、また解決しない場合には、次の要領でお問い合わせください。

パソコンなどのシステムの問題は？

プリンタの動作が正常に動作し、プリンタドライバのインストールも問題なければ、プリンタケーブルやパソコンシステム（OS 、メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると考えられます。

パソコンを購入された販売店もしくは､パソコンメーカーとご相談ください。

特定のアプリケーションで起こる場合は？

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルは、プリンタドライバを最新のバージョンにバージョンアップすると問題が解決する場合があります。また、アプリケーションソフト固有の問題が考えられます。

アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

プリンタドライバのバージョンアップの方法は、別紙の「サポートガイド」をご覧ください。

プリンタの故障の場合は？

どのような対処をしてもプリンタが動かなかったり､深刻なエラーが発生して回復しない場合は､プリンタの故障と判断されます。

お願い：保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品（インク）の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後５年間です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけない場合もあります。

- **お客様相談センターまたはお近くの修理受付窓口に修理を依頼してください。**
- **弊社修理受付窓口につきましては、別紙の『サポートガイド』をご覧ください。**

※修理窓口へ宅配便で送付していただく場合

- プリントヘッドとインクタンクは、取り付けた状態でプリンタの電源ボタンを押して電源をお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
- プリンタが輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。

重要：

梱包時／輸送時にはプリンタを傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、プリンタがガタつかないようにしっかりと梱包してください。

どこに問題があるのか判断できない場合やその他のお困り事は

キヤノンお客様相談センター　050ー555ー90011
キヤノンサポートホームページ canon.jp/support

使用済みインクカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。
この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。
キヤノンではご販売店の協力の下、全国に 3000 拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。
また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。
回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
キヤノンサポートホームページ　canon.jp/support
事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。



■ 使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動
キヤノンでは、使用済みカートリッジ回収を通じてベルマーク運動に参加しています。
ベルマーク参加校単位で使用済みカートリッジを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。
この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
環境への取り組み　canon.jp/ecology

お問い合わせのシート

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。
また、おかけまちがいのないよう電話番号はよくご確認ください。

[プリンタの接続環境について]

- プリンタと接続しているパソコンの機種（　　　　　　　）
- 内蔵メモリ容量（　　　　　MB）
  ／ハードディスク容量（　　　　　MB/GB）
- 使用している OS：Windows □XP □ 2000（ver.　　　　）
  □Macintosh（ver.10.　　　）
- パソコン上で選択しているプリンタドライバの名称
  （　　　　　　　　　　　）
- ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン
  （　　　　　　　　　　　　　　　　　）
- 接続方法
  □直結　□ネットワーク（種類：　　　　　　　）
  □その他（　　　　　　　　）
- 接続ケーブルのメーカー（　　　　　）品名（　　　　　）

[プリンタの設定について]

- プリンタドライバのバージョン No.（　　　　　　　）
  パソコン上のプリンタ設定でバージョン情報が確認できます。

[エラー表示]

- エラーメッセージ（できるだけ正確に）
  （　　　　　　　　　　　　　　　　　）
- エラー表示の場所
  □パソコン　□プリンタ

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒 108-8011　東京都港区港南 2-16-6

This product uses the following copyrighted software:

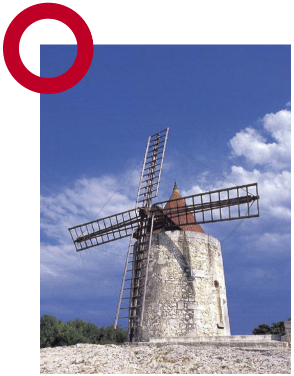
exit.c

environ.c

impure.c
string.h
_ansi.h

インクが出ない・かすれるときは？

プリントヘッドのノズル（インクのふき出し口）が目づまりすると、
色味がおかしかったり印刷がかすれる場合があります。











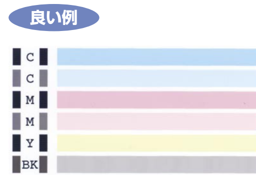
こんなときは？

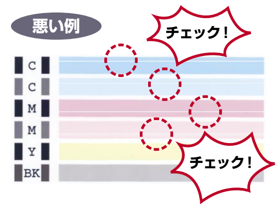
ポイント1 **インクタンクがしっかりと取り付けられていますか？**

▶ インクタンクの状態を確認してください。（本書66ページ）

ポイント2 **プリントヘッドは目づまりしていませんか？**

▶ ノズルチェックパターンを印刷し、確認してください。
（本書62ページ）





ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合は、
本書の手順にしたがってプリンタのお手入れをしてください。

いますぐ、本書61ページへ

参考

プリントヘッドの目づまりを防ぐため、月1回程度、定期的に
印刷されることをお勧めします。

知って得するヒント集

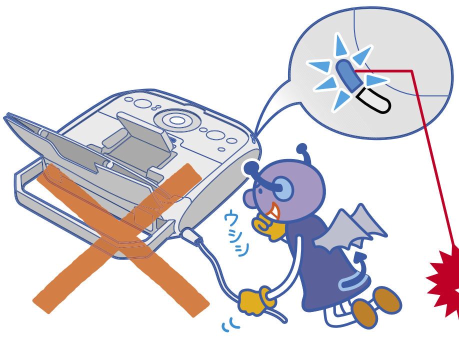
印刷を中止するときは？



電源ボタンは押さないで！

不要な印刷ジョブがたまって印刷できなくなる場合があります。

電源コードを抜くときは？



電源ランプが消えていることを必ず確認してから電源コードを抜いてね！

プリンタが故障する恐れがあります。

重要

プリンタ使用後に電源コードを抜くときは、電源ランプが完全に消灯していることを確認してから抜いてください（電源ランプが点灯・点滅しているときは、電源コードを抜く前に電源ボタンを押してプリンタの電源を切ります）。電源ランプが点灯・点滅しているときに電源コードを抜くと、プリンタの不良や故障の原因になり、その後印刷できなくなることがあります。

写真をかんたん補正

写真が暗くなったり、明るすぎたりしたときは →P.40



オートフォトモード [OFF]　→　オートフォトモード [ON]*



＊ご購入時または設定リセット実行時に設定されている機能です。

海や空、草原などの風景写真をより鮮やかにするには →P.40



VIVIDフォト [OFF]*　→　VIVIDフォト [ON]



＊ご購入時または設定リセット実行時に設定されている機能です。

印刷する写真の色を調整したいときは →P.40

明るさ

暗く ◀◀◀◀◀ 標準 ▶▶▶▶▶ 明るく





コントラスト

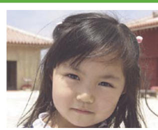
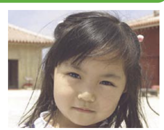
弱く ◀◀◀◀◀ 標準 ▶▶▶▶▶ 強く





色あい

赤色強く ◀◀◀◀◀ 調整なし ▶▶▶▶▶ 黄色強く

「赤目補正」／「顔明るく補正」／「携帯画像補正」→P.40

レイアウト一覧

「選んで印刷」→P.25

フチなし



フチあり



「レイアウト印刷」→P.27

2面
フチなし



2面
フチあり



4面
フチなし



4面
フチあり



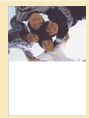
8面
フチなし



8面
フチあり



絵はがき
フチあり



絵はがき
フチなし



絵はがき
（罫線）
フチなし



絵はがき
（罫線）
フチあり



アルバム
4面（写真右）



アルバム
4面（写真左）



「シール紙印刷」→P.29

「いろいろ印刷」→P.33

●キヤノンPIXUSホームページ　canon.jp/pixus

新製品情報、Q&A、各種ドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。

※通信料はお客様のご負担になります。

●お客様相談センター

PIXUS・インクジェットプリンタに関するご質問・ご相談は、下記の窓口にお願いいたします。

キヤノンお客様相談センター

050 - 555 - 90011

【受付時間】〈平日〉9:00〜20:00　〈土日祝日〉10:00〜17:00（1/1〜1/3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9330をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

このプリンタで使用できるインクタンク番号は、以下のものです。

19 Color
BCI-19 Color

※インクタンクの交換については、66ページをお読みください。

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条　等

再生紙を使用しています。

QT5-0752-V03

PRINTED IN VIETNAM